令和２年度

教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書

令　和　３　年　９　月

蘭越町教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見も活用しながら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

蘭越町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様に対する説明責任を果たすため、平成２０年度から毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成し、公表してまいりました。

令和２年度につきましても、令和元年度に策定した新たな「蘭越町教育推進計画」（令和２年度から令和６年度）に基づき、教育委員会が行った活動の状況や推進計画に掲げた施策の実施状況について点検・評価を行い、成果や課題と今後の方向性を明らかにした報告書を作成いたしました。

令和２年度の教育委員会における活動は、新型コロナウイルス感染症防止対策に追われ、活動を制限する学校の休業や行事・事業の中止など、学校や社会教育の現場にかつてない混乱が生じました。現在においてもその収束は達成されておりませんが、感染予防を着実に講じ、工夫しながら、従前の教育活動を取り戻す取組を進めているところです。

加えて人口減少の加速化、グローバル化の進展、情報通信技術の発達など、社会が急速に変化し、予測が困難な時代の中、本町が持続的に発展するためには、将来を担う心身共に健やかな人材の育成が不可欠です。

教育委員会としては、子どもたちが安心して安全に活動できるよう環境を整えるとともに、高い志や意欲を持つ自立した人間として未来を切り開いていく力を身につけることができるような教育施策の実施、その効果の不断の検証と改善に努めながら、引き続き、本町の教育行政の着実な推進に努めてまいります。

今後とも、町民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、この点検・評価の実施に当たっては、有識者で構成する「蘭越町教育委員会点検評価外部評価委員会」を開催し、多岐にわたって貴重なご意見をいただきました。同委員会で熱心にご議論いただきました委員各位に厚くお礼を申し上げます。

令和３年９月

蘭越町教育委員会

目　　次

第１章　教育委員会の活動状況
１　教育委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　教育委員会の会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
３　条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正・・・・・・・・・・・・・・・・４
（１）条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止・・・・・・・・・・・・・・・・４
４　教育委員会委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
５　各種委員会等の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
６　令和２年度予算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
７　行政改革（組織機構）の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（１）組織体制の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（２）事務事業等の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
８　教育関係者の表彰等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（１）蘭越町文化功労者表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（２）蘭越町スポーツ表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（３）関係団体表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

第２章　令和２度教育推進計画に基づく評価（内部評価）
１　確かな学力の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
２　特別支援教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
３　国際理解教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
４　情報教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
５　道徳教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
６　ふるさと教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
７　読書活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
８　生徒指導の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
９　体力・運動能力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
１０　食育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
１１　学校段階間の連携・接続の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
１２　学校運営の改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
１３　学校安全教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
１４　学校と地域の連携・協働の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
１５　地域に根ざした高校づくりに向けた支援・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
１６　家庭の教育力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
１７　子育て支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
１８　多種多様な学習機会の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
１９　生涯学習体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
２０　生涯各期に社会教育活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
２１　芸術文化活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
２２　文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
２３　みんなが集う花一会図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
２４　外に飛び出す図書館活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
２５　生涯にわたるスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
２６　児童生徒のスポーツ活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
２７　スポーツ環境の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

第３章　外部評価
　１　外部評価委員による評価・意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
資　料
　１　教育委員会行政組織機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
　２　学校の児童生徒・教職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
　３　施設利用者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　（１）町民センター利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　（２）町民プール利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　（３）体育施設利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　（４）目名サッカー場利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　（５）トレーニング室利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　（６）花一会図書館利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
　４　学校評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
　・昆布小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
　・蘭越小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
　・蘭越中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０

第１章　　教育委員会の活動状況

第１章のポイント
教育委員会委員名簿、会議の開催状況、条例・規則等の制定及び改正、委員・各種委員会の活動状況、教育関係者の表彰など、令和２年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

1 教育委員会委員名簿

職　　名	氏　　名	任　　期
委　　員	西　澤　雅　明	平成16年10月23日～令和6年10月22日
委　　員	及　川　かをり	平成23年12月21日～令和5年12月20日
委　　員	西　元　裕　子	令和元年12月21日　～令和5年12月20日
委　　員（新任）	髙　橋　浩　之	令和2年10月23日　～令和6年10月22日
委　　員（退任）	鍋　田　圀　雄	平成20年10月23日～令和2年10月22日
教　育　長（新任）	小　林　俊　也	令和2年12月20日～令和5年12月19日
教　育　長（退任）	首　藤　一　幸	平成25年12月20日～令和2年12月19日

2 教育委員会の会議の開催状況

蘭越町教育委員会の会議は、毎月１回開催しており、緊急の案件がある場合には臨時の会議を開催しています。

この会議において、教育長と４名の教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する条例及び規則等の制定や改正など、様々な議題について審議しています。

期　　日	付　議　案　件　等
第４回 ２．　４．　３	（審議） ・蘭越町特別支援連携協議会委員の任命について
第５回 ２．　４．２８	（報告） ・小中学校の体罰に係る実態把握、対応状況について （審議） ・蘭越町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・蘭越町奨学資金奨学生の採用について
第６回 ２．　６．５	（報告） ・第４地区教科書採択教育委員会協議会委員の選出について ・町立学校の夏季休業について ・令和２年度蘭越町立小学校施設の開放について （審議） ・令和２年度一般会計教育費補正予算（案）について ・蘭越高等学校の今後のあり方についての検討会委員の選任に係る意見について ・蘭越町学校運営協議会設立準備委員会委員の選出及び任命について
第７回 ２．　７．１３	（報告） ・令和２年度蘭越町議会定例会一般質問について ・令和２年度一般会計教育費補正予算について ・工事請負契約の締結について （承認） ・令和２年度要保護・準要保護児童生徒の認定について （審議） ・蘭越町教育大綱の策定について

	・令和２年度一般会計教育費補正予算（案）について （協議） ・教育委員視察研修について
第８回 ２．　８．　１７	（報告） ・令和２年度一般会計教育費補正予算について ・令和元年度蘭越町学校給食会計決算について （審議） ・令和３年度使用小学校用教科書の採択について ・令和３年度使用中学校用教科書の採択について ・令和３年度使用小・中学校用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について （協議） ・教育委員視察研修について
第９回 ２．　９．　１０	（報告） ・学校職員の交通事故等に係る指導等について （審議） ・令和２年度一般会計教育費補正予算（案）について （協議） ・蘭越町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（案）について
第１０回 ２．１０．１３	（報告） ・学校職員の交通事故等に係る指導等について ・小中学校のいじめ問題の対応について ・令和２年度学校給食会計第１学期末執行状況について （審議） ・パワー・ハラスメントをはじめとする各種ハラスメントの防止等に関する指針（案）について ・携帯電話の取扱い及び情報モラル教育の推進等に係る基本的な指導方針（案）について （協議） ・令和２年度第１回教育委員学校訪問について
第１１回 ２．１２．　３	（審議） ・令和２年度一般会計教育費補正予算（案）について （協議） ・令和２年度第１回教育委員学校訪問結果について ・令和３年度「教育行政執行方針」骨子について ・令和３年度一般会計教育費予算（案）について
第１２回 ２．１２．２２	（指名） ・蘭越町教育委員会教育長職務代理者の指名について （承認） ・令和２年度要保護・準要保護児童生徒の認定について （協議） ・令和２年度第１回蘭越町総合教育会議について

第１回 ３．　１．２２	（審議） ・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則（案）について ・令和３年度全国学力・学習状況調査実施方針（案）について
第２回 ３．　２．２２	（報告） ・令和２年度一般会計教育費補正予算について ・令和２年度学校給食会計第２学期末執行状況について （承認） ・令和２年度要保護・準要保護児童生徒の認定について ・令和３年度要保護・準要保護児童生徒の認定について （審議） ・蘭越町附属機関設置条例の一部を改正する条例（案）について ・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則（案）について ・蘭越町特別支援連携協議会設置規則の一部を改正する規則（案）について ・蘭越町特別支援教育就学奨励費給付要綱の一部を改正する告示（案）について ・学校職員の人事の内申について ・令和２年度一般会計教育費補正予算（案）について ・令和２年度奨学資金特別会計補正予算（案）について ・令和３年度教育行政執行方針（案）について ・令和３年度一般会計教育費予算（案）について ・令和３年度歳入歳出予算のうち教育関係予算に係る教育委員会の意見について ・令和３年度奨学資金特別会計予算（案）について ・令和３年度学校給食会計予算（案）について
第３回 ３．　３．２６	（報告） ・学校職員の人事の内申について ・令和３年第１回蘭越町議会定例会一般質問について ・蘭越町立小学校及び中学校医療的ケア実施要綱について ・学校職員の交通事故等に係る指導等について （審議） ・蘭越町教育委員会事務局職員の任免について ・蘭越町学校運営協議会規則（案）について ・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則（案）について ・蘭越町立学校における教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱（案）について ・蘭越町立学校における事務職員の標準的な職務の内容及びその例並びに事務職員の職務の遂行に関する要綱（案）について ・蘭越高等学校教育振興対策事業実施要綱の一部を改正する告示（案）について ・修学旅行の引率業務等に従事する蘭越町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令（案）について ・蘭越町花一会図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則（案）について ・蘭越町立学校に係る部活動の方針の一部改正について ・蘭越町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について ・蘭越町花一会図書館運営協議会委員の任命について ・蘭越町スポーツ推進委員の委嘱について ・蘭越町生涯学習推進委員（補欠）の選任に係る意見について （協議） ・成年年齢引き下げによる蘭越町成人式の在り方について

3 条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正

令和２年度の教育関係の条例は、令和３年度に向け、蘭越町学校運営協議会設立準備委員会を廃止し、蘭越町学校運営協議会を設置することに伴う蘭越町附属機関設置条例の一部を改正しています。

規則等におきましては、蘭越小学校において、医療的ケアを実施するための蘭越町立小学校及び中学校医療的ケア実施要綱を制定しました。

規則・要綱等の制定、改正の状況は次のとおりです。

なお、各種計画等については、策定、改訂はありません。

（１）条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止

公布（施行）年月日	題名
3. 1. 25	・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則
3. 2. 24	・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則
〃	・蘭越町特別支援連携協議会設置規則の一部を改正する規則
〃	・蘭越町特別支援教育就学奨励費給付要綱の一部を改正する告示
3. 3. 1	・蘭越町立小学校及び中学校医療的ケア実施要綱告示
3. 3. 15	・蘭越町付属機関条例の一部を改正する条例
3. 3. 29	・蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則
〃	・蘭越高等学校教育振興対策事業実施要綱の一部を改正する告示
〃	・蘭越町立学校における教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱告示
〃	・蘭越町立学校における事務職員の標準的な職務の内容及びその例並びに事務職員の職務の遂行に関する要綱告示
3. 3. 31	・蘭越町花一会図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
〃	・蘭越町学校運営協議会規則

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、月１回の定例会に加え、例年、各小中学校の行事、各種表彰式へ出席するほか、各種研修会に出席するなどの活動をしていますが、令和２年度は新型コロナ感染症防止対策のため入学式、運動会、学芸会、卒業式等の学校行事や各種研修会等への参加を取りやめました。

主な活動状況　　※教育長を除く

日　　時	活　動　内　容	委　員　名
４月　３日	転入教職員辞令交付式	全　　員
７月　９日	蘭越高校を地域とともに考える会総会	全　　員
８月１５日	蘭越町成人式	西澤・及川・西元
１１月４日	第２回教育委員学校訪問（蘭越小・昆布小・蘭越中・蘭越高校）	全　　員
１月２２日	蘭越町総合教育会議	全　　員

5 各種委員会等の活動状況

蘭越町教育委員会に設置している主な審議機関、委員会等は次のとおりです。第６次蘭越町総合計画実行計画（令和２年度～令和６年度）や新たに策定した教育計画「蘭越町教育推進計画（令和２年度～令和６年度）」と整合性を図りながら、生涯学習活動、子どもの読書活動等の推進に努めました。

名　　称	委員数	会　議 開催数	主 な 協 議 事 項	会議開催 年 月 日
蘭越町生涯学習推進委員会	２１	1	・令和２年度の生涯学習活動並びに専門部会の具体的な活動について	令和 2. 4 月 （書面会議）
蘭越町文化功労者表彰選考委員会	6	1	・令和２年度蘭越町文化功労者表彰の選考について	令和 2.10.5
蘭越町子ども教室運営委員会	8	2	・令和２年度放課後子ども教室の運営の体制並びに蘭越町学校支援地域本部事業について ・令和２年度放課後子ども教室実施状況について	令和 2. 7.30 令和 3. 3.26
蘭越町花一会図書館運営協議会	１０	2	・令和元年度図書館運営状況について ・令和２年度図書館運営について ・令和２年度図書館運営状況（令和２年度上半期～12 月末まで）について	令和 2.4.30 （書面会議） 令和 3.1.26

蘭越町スポーツ推進委員会議	１１	2	・スポーツ推進委員活動計画について ・令和２年度の総括について	令和 2. 9. 7 令和 3. 3.11
蘭越町スポーツ表彰選考委員会	6	1	・令和２年度蘭越町スポーツ功労賞及びスポーツ栄誉賞の選考について	令和 2. 9.14
蘭越町学校給食センター運営委員会	8	4	・令和２年度給食会計収支予算及び令和元年度給食会計決算（見込）について ・令和元年度給食会計決算について ・令和２年度給食会計１学期未執行状況について ・令和２年度給食会計２学期未執行状況 ・令和３年度給食会計収支予算について	令和 2. 5.12 令和 2. 7.13 令和 2.10.16 令和 3. 2.15
蘭越町特別支援連携協議会（相談支援チーム会議）	１３	2	・新就学児の情報共有 ・新就学児のスクリーニング検査の立会	令和 2.9.24 令和 2.10.2
蘭越町特別支援連携協議会（医療的ケア運営協議会専門部会）	１３	2	・医療的ケア実施に係る協議等 ・医療的ケア実施に係る協議等	令和 3.2.26 令和 3.3.26 （書面会議）
蘭越町外国語教育連携推進会議	２１	4	・小中高の連続した英語教育の在り方 ・ＣＡＮ－ＤＯリストについて ・合同研修会について ・地元ＰＲによる地域活性化の取組みについて ・アンケートの実施・活用について ・小中乗り入れ、高中乗り入れ授業について ・イングリッシュトライアルの実施について ・パフォーマンステストについて ・ＣＡＮ－ＤＯリストの改訂について	令和 2.8.18 令和 2.9.8 令和 2.10.28 令和 2.12.15

蘭越町学校運営協議会設立準備委員会	１３	3	・委員長、副委員長の互選について ・学校運営協議会（コミュニティスクール）の概要について ・発足に向けた取組について ・組織体制について ・設置規則について ・協議会の運営等について ・蘭越町学校運営協議会設立に関する具申について	令和２．８.27 令和２．２.16 令和２．３.24 （書面会議）
蘭越高等学校の今後のあり方についての検討会	１６	2	・蘭越高等学校の現状について ・今後の進め方について ・生徒や保護者の蘭越高等学校に対する考え方について ・蘭越高等学校の現状と町立高校への移管について ・道内市町村立高校と閉校した高校への調査について	令和２．７.29 令和２.11.30

6 令和2年度予算の状況

令和２年度一般会計教育費の最終予算は４８２，００２千円で、さらに、教育費関係の新型コロナウイルス感染症対策費が８５，７３１千円となり、併せて５６７，７３３千円、町費一般会計の７．２％を占め、教育費全体としては、対前年比５２，７１８千円の増となりました。児童生徒への一人１台タブレットの購入、感染症対策として扇風機や網戸、中学校の普通教室の拡張や体育館の温風ボイラー改修、消毒関係の消耗品の購入等を行ったほか、各施設老朽化等に伴う修繕を行うとともに、学校運営、社会教育やスポーツ活動等限られた財源の中で効率的な各種事業の実施に努めました。

教育費最終予算の内容（項、目別予算）　（千円）

項及び目	予算額
1　教育総務費	１５４，２６３
（1）教育委員会費	１，５０７
（2）事務局費	８６，７２４
（3）スクールバス費	６６，０３２
2　小学校費	８６，５９２
（1）学校管理費	７７，６５１
（2）教育振興費	８，９４１
3　中学校費	５４，５５８
（1）学校管理費	５１，８３５
（2）教育振興費	２，７２３
4　社会教育費	７７，９９６
（1）社会教育総務費	４５，８６８
（2）町民センターらぶちゃんホール費	１１，４７４
（3）花一会図書館費	１７，４９５
（4）放課後子ども教室費	３，１５９
5　保健体育費	１０８，５９３
（1）保健体育総務費	２７，０７１
（2）体育施設費	３５，１１６
（3）学校給食センター費	４６，４０６
合計	４８２，００２

新型コロナウイルス感染症対策費	８５，７３１
合計	５６７，７３３

7 行政改革(組織機構)の取組について

近年、国・地方を通じる財政の危機的状況は益々その深刻さの度合いを深め、地方自治体の財政状況は、年々その厳しさを増してきており、この難局を乗り越えるためには財政構造そのものを変革する必要があります。

そのためには、財政と不可分の関係にある行政の仕組みと連動させて推進する必要があり、現行の制度や施策を見直し、行財政の構造をその根源から変革するため、組織体制や事務事業の見直しを進めました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価が義務付けられておりますので、令和元年度の蘭越町教育推進計画の実施状況等報告書を作成の上、議会へ提出及び公表をしております。

(1) 組織体制の見直し

令和２年度は、教職員の働き方改革に対応する部活動指導員の増員や特別な支援や配慮が必要な小学校入学前の幼児、小・中学校に在籍する児童生徒及び保護者に対して、言語面や行動面等に関する教育相談や情報提供、関係機関との連携を行う教育相談支援員を設置するとともに、昨年同様、職員を兼務発令し、業務の円滑な執行に努めました。

- 学 務 課 主 幹 ～ 総務係長 兼務
- 生涯学習課主幹 ～ 町民センター長及び業務係長 兼務
- スポーツ課主幹 ～ 総合体育館長 兼務
- 花 一 会 館 長 ～ 業務係長 兼務
- 学校給食センター長 ～ 業務係長 兼務
- スポーツ課スポーツ振興係長 ～ スポーツ施設係長及び総合体育館業務係長 兼務
- 町民センター業務係 ～ 花一会業務係 兼務

(2) 事務事業等の見直し

特別職非常勤職員を厳格化し各種委員会の整理を行いました。

また、委託料及び一部施設使用料の見直しについても検討していきます。

- 各種委員会等 ～ 特別職非常勤職員の厳格化による整理を行いました。
- 委 託 事 業 ～ 必要に応じて見直し検討します。
- 補 助 金 ～ 見直し終了。
- そ の 他 ～ 各種使用料の一部について見直しを引き続き検討します。

8 教育関係者の表彰等

令和２年度の主な教育関係の表彰等は次のとおりです。
その中で、蘭越町文化功労者表彰の受賞者は２名、蘭越町スポーツ表彰の受賞者は３名です。

（１）蘭越町文化功労者表彰
林　　利　彦（伝統工芸「竹細工」の継承と普及）
谷　内　　宏（生涯学習活動の実践と普及）

（２）蘭越町スポーツ表彰
スポーツ功労賞
永　井　一　秀（スキー競技の普及や町のスポーツ振興に大きく貢献）
菊　地　芳　孝（軟式野球競技の普及や町のスポーツ振興に大きく貢献）
松　田　洋　子（ソフトテニス競技の普及や町のスポーツ振興に大きく貢献）

（３）関係団体表彰
・　蘭越町文化団体協議会表彰
ア　文化賞
上　野　朝　子（蘭越俳句会）
イ　文化奨励賞
小　寺　澄　子（日本舞踊ほほえみ会）
ウ　特別賞
相　澤　絹　代（木彫愛好会）
嘉　門　純　樹（純樹・富美樹会）
松　本　佳世子（歌声サークル「はな」）
・　蘭越町スポーツ協会スポーツ表彰
ア　スポーツ振興賞
石　川　　真（スポーツ協会港支部）
長　内　　努（ソフトボール協会）
イ　スポーツ奨励賞
大　室　壮二朗（道新杯北海道小学生卓球大会）※小５の部

第２章　令和２年度教育推進計画に基づく評価（内部評価）

第　２　章　の　ポ　イ　ン　ト
令和２年度から令和６年度までを計画期間とする蘭越町教育推進計画に基づき、令和２年度の教育委員会の活動の点検・評価を行ったものです。 具体的には、「教育推進計画」に示した27項目の施策について、目標指標の実施状況や、令和２年度事業の取組概要・成果や課題・今後の方向性を整理しています。

施策項目 1　確かな学力の育成

目　　標

学校と家庭が連携を図りながら、子どもの学ぶ意欲を育むとともに、望ましい学習習慣を身に付けさせ、確かな学力を育む。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（R元）	R元	R２	目標（R６）
児童・生徒の授業の理解	全国学力・学習状況調査において、「国語、算数・数学の授業の内容は分かる」と回答した町内児童・生徒の割合（小学６年生、中学３年生） ※R2 全国学力・学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小国　90.7% 小算　84.4% 中国　77.8% 中数　72.2% 中英　58.4%	小国　90.7% 小算　84.4% 中国　77.8% 中数　72.2% 中英　58.4%	小国　－% 小算　－% 中国　－% 中数　－% 中英　－%	小国、算 90% 中国、数 80% 中英 65%以上をめざす
基礎・基本の定着の状況	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率を 100 とした場合の町内学校のすべての教科の平均正答率 ※R2 全国学力・学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小国　114 小算　101 中国　98 中数　99	小国　114 小算　101 中国　98 中数　99	小国　－ 小算　－ 中国　－ 中数　－	すべての教科で 100 以上をめざす
家庭学習の取組状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という設問に対して、「１時間以上勉強している」と回答した町内児童・生徒の割合 ※R2 全国学力・学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　50.0% 中　44.4%	小　50.0% 中　44.4%	小　76.0% 中　37.9%	「１時間以上勉強する」と回答する町内児童・生徒の 60%以上をめざす
	全国学力・学習状況調査において「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という設問に対して、「している」と回答する町内児童・生徒の割合 ※R2 全国学力・学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　59.4% 中　47.2%	小　59.4% 中　47.2%	小　80.0% 中　31.0%	すべての児童・生徒が計画を立てて勉強していると回答することをめざす
幼保小中の連携	確実な接続を目指す相互視察（授業参観等）や乗り入れ授業の実施	幼保小視察 入学説明会 体験入学	幼保小視察 入学説明会 体験入学	幼保小視察 入学説明会 体験入学 中→小視察 中→小乗り入れ授業	視察や乗り入れ事業100%をめざす
指導技術の向上	教職員の教科指導に係る専門的な研修への参加率	85.0%	85.0%	73.8%	一人一研修をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

（１）基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る学習活動の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
放課後や長期休業期間を利用した補充的な学習、児童・生徒の主体的な学習を支援する体制の充実	・感染症の状況から長期休業期間の補充的な学習は行えなかったことから、通常の授業の中で、国語・算数を中心にＴＴ指導の充実を図り、支援員、管理職、教務主任も協力する中で、個に応じた指導を実現できた。（蘭越小）	・担任以外の支援員や教務主任等、校内の協力体制を維持し、更なる学力向上を目指します。（蘭越小）

	・感染症対策として、長期休業中の学習会は行わなかったが、放課後に放課後子ども教室と連携し、児童の実態に合わせ補充的な学習を行った。（昆布小） ・テスト前の学習会と長期休業中（冬季のみ）の学習会を計画通り実施した。3年生の進路学習や支援員による補充学習など、体制の整備に努めた。（中学校）	・小規模校の特生を生かし、個に応じた補充的な学習を推進する。（昆布小） ・テスト前学習会・長期休業中学習会の内容改善と学習支援員による定期的な放課後学習の実施を図る。（中学校）

（2）学年の発達段階に応じた家庭での学習習慣の定着を図り、主体的に学習に取り組む等、学びに向かう力の涵養

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭における学習習慣の確立	・模範となる児童の家庭学習ノートを掲示し周知することで全児童の家庭学習習慣の定着を促し、1時間以上家庭学習を行う児童が76%となった。（蘭越小） ・家庭学習の手引きを各家庭に配布し参観日に保護者に説明し、家庭の協力を求めた。（昆布小） ・各教科の家庭学習ノートを毎日提出することとし学習習慣の定着に努めたが、提出率については生徒個人差が大きく現れた。（中学校）	・取組を継続し、1時間以上家庭学習を行児童 80%以上を目指す。（蘭越小） ・各学級の取り組みの推進及び、取り組み状況の交流。（昆布小） ・授業と連動した課題を工夫し、家庭学習の必要性を実感させるよう、学校全体で検討する。（中学校）

（3）幼保小中の連携を図るとともに、確実な接続を実現する指導体制の確立

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スムーズな接続を実現する連携・指導体制の確立	・小中の 1 日入学、幼保小中の引継ぎを実施した。（蘭越小） ・4月入学前にはばたきシートを引継ぎ、職員間で情報共有を図るとともに、春休みに幼保との引継ぎを行った。（昆布小） ・教育課程実践交流会を通じて、小中学校の学習規律や指導過程をそろえていくことで、子どもたちが違和感なく学習に集中できる環境整備に努めた。また、英語教育支援事業の一環として各小学校へ英語科の教員が乗り入れ授業を行うとともに、小中高の教員による協議を重ね、９年間を見通した英語教育の充実を図った。（中学校）	・日常の児童生徒の様子を幼保小中できめ細やかに情報共有できるよう体制を整える。（蘭越小） ・今後も継続し、スムーズな接続を図る。（昆布小） ・授業を見合う機会を増やしたり、英語以外の授業の乗り入れを行ったりすることで、小学校の状況を把握するとともに、小中のスムーズな接続につなげる。（中学校）

（4）管理職や先輩教員からの学びや同僚間の学び合いと校内研修の推進

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
外部での研修や外部講師を招く研修による教科研究の充実	・初任から３年目の若手教員が多いことから、授業方法、授業準備、学級経営方法など基本的な研修に重点を置き実施した。また、若手教員を確実に育てていける温かい環境を心掛けた。（蘭越小）	・研修時に管理職によるワークショップを開催し、各教員の取組を共有し、その改善を図る。（蘭越小）

	・初任段階研修の計画的に実施するとともに、後志研修センターの研修講座への参加を促した。（昆布小） ・新学習指導要領のねらいを達成するための研究計画を立て、学校全体で授業改善に取り組んだ。（中学校）	後志研修センター講座への積極的な参加と、教職員への還元を図る。（昆布小） ・校外研修や外部講師の招聘などを通じて、先進的な実践や取組の情報を積極的に取り入れ、授業改善を図る。（中学校）

施策項目 2　特別支援教育の充実

目　　標

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、学校関係者や保護者などに対し、特別支援教育に関する理解を深め、幼児期から学校卒業までの切れ目ない一貫した指導や支援を行う。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年 (R130)	R元	R２	目標（R６）
「個別の教育支援計画」の策定状況	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒の「個別の教育支援計画（幼保：羽ばたきシート）」の入学・進学先等における引き継ぎ、活用している割合	幼・保→ 小 100% 小→中 100% 中→高　0%	幼・保→ 小 100% 小→中 100% 中→高　0%	幼・保→ 小 100% 小→中 100% 中→高　0%	対象児童・生徒について 100%活用を維持し、高校での活用100%をめざす。
特別支援教委に関する研修の状況	各校の特別支援教育に関する校内研修の実施状況	各校、校内研修に取り上げている。	各校、校内研修に取り上げている。	各校、校内研修に取り上げている。	各校１回以上の研修開催

点検・評価の課題と今後の方向

（１）一貫した支援をめざした特別支援教育の推進

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒における「個別の教育支援計画」の策定・活用	・作成した「個別の支援計画」を全職員で共有するとともに、校内支援員会や学級経営交流を定期的に開催し、対象児童の情報を更新していくことで、実態に応じた支援を行った。（蘭越小） ・特別支援学級児童の支援計画を作成と併せ、通常学級に在籍する支援が必要な児童における支援計画作成の検討を行った。（昆布小） ・（中学校）個別のカルテは作成しているが、「個別の支援計画」を作成するまでにはいたっていない。	・指導体制を継続し、指導の充実を図る。（蘭越小） ・定期的に支援を必要とする児童の把握を行い、必要に応じて支援計画を作成する。（昆布小） ・（中学校）保護者との合意形成を行った上で、適切に策定するとともに、校内で共通した支援につながるよう、「個別の指導計画」の作成につなげる。

（２）幼稚園、小・中学校、高等学校などにおける特別支援教育の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
蘭越町特別支援連携協議会の専門的な相談支援の充実（就学支援シートの取組含む）	・幼保から「はばたきシート」、小から中へは「個別の教育支援計画」により情報共有を行った。（蘭越小） ・「はばたきシート」による情報共有と併せ、相談支援チーム等の関係機関と連携を図り対象となる児童の指導にあたった。（昆布小） ・協議会の活動内容を踏まえて、ケース会議や相談支援等を適宜実施した。（中学校）	・積極的に継続していきます。（蘭越小） ・今後も連携を図り効果的な支援を継続する。（昆布小） ・専門機関との連携を強化し、特別支援教育の充実を図る。（中学校）

（3）特別支援教育に関する研修の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
障害に関する研修の充実	・校内特教部が中心となり資料を作成し対象児童の情報共有を行った。また、新設された特別支援学級の対象児童へのケアの方法、障害の特性について研修を実施した。（蘭越小） ・校内研修時に実施した。（昆布小） ・外部から講師を招聘し、障害に関する知識や支援方法について研修を行った。（中学校）	・病弱学級児童、肢体不自由学級児童への理解を深め、教師・児童が一体となって学びを深められるよう進める。（蘭越小） ・（昆布小）内容を検討し、充実させていく。 ・日常的に特別支援コーディネイターから情報発信をすることで、障害に関する知識を高める。（中学校）

施策項目 ３　国際理解教育の充実

目　　標

国際社会の一員としての自覚を持ち、自国はもとより、諸外国の歴史や文化、伝統等について理解を深め、尊重し、様々な価値観を持つ人々と共に協調して生きていく態度や、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育成する

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年	Ｒ元	Ｒ２	目標（Ｒ６）
外国語活動の実施状況	ＡＬＴが支援した外国語・外国語活動の授業時数（小中学校）	授業時数100% (R1)	授業時数100%	授業時数100%	授業時数100%継続をめざす
外国語研修の実施状況	小学校の教員を対象とした外国語研修の実施	未実施 (H30)	未実施	１校で実施（昆布小）	年間１回の実施をめざす
英検３級合格者の状況	中学校卒業段階で英検３級以上を取得又は英検３級の英語力を有すると思われる生徒の割合	17.5% (H30)	16.4%	23.8%	30%

点検・評価の課題と今後の方向

（１）外国語教育の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
ＡＬＴを活用した外国語活動（小学校）	・ＡＬＴを活用し複数の教員による指導を行うことで習熟度に合わせた授業を行った。（蘭越小） ・１、２年生も年５回行った。体を動かしたりゲームを行い楽しみながら英語に触れる活動を行った。（昆布小）	・現体制を維持し、外国語に親しみながら知識を獲得できるよう進める。（蘭越小） ・継続していく。（昆布小）
ＡＬＴを活用した外国語教育（中学校）	・コロナ禍により、当初の計画通りとはならなかったが、パフォーマンステストで効果的に活用することができた。	・「English トライアル」など、より計画的な活用を図っていく。（中学校）

（２）国際理解・異文化理解協力の推進

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
国際交流・異文化交流の実施（ＡＬＴの活用含む）	・外国語、総合の授業においてＡＬＴを活用することで国際交流・異文化交流を図った。（蘭越小） ・ＡＬＴや外国籍の人との交流を通じて、異文化に触れ理解を深めた。（昆布小） ・掲示物の作成やその評価などを通して、異文化交流を図った。（中学校）	・継続し深化を図る。（蘭越小） ・ＡＬＴの継続活用と併せ地域人材の発掘と連携推進を図る。（昆布小） ・ALT との交流機会を増やすなど取り組んでいく。（中学校）
国際理解・異文化理解の活動	・総合、社会科の授業においてを中心にＡＬＴを活用することで国際理解・異文化理解の深化を図った。（蘭越小） ・ＡＬＴや外国籍の人との交流を通じて、異文化に触れ理解を深めた。（昆布小） ・特別な取組は行っていない。（中学校）	・継続し深化を図る。（蘭越小） ・ＡＬＴの継続活用と併せ地域人材の発掘と連携推進を図る。（昆布小） ・実施の検討を行う。（中学校）

施策項目 4　情報教育の充実

目　　標

情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することや情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育てる。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（R元）	R元	R２	目標（R６）
コンピューターを活用した指導の状況	学校における教育情報化の実態等調査におけるコンピューターを活用して指導できる教員の割合	88.9%	88.9%	89.3%	100%をめざす
情報教育に関する指導の状況	情報教育やプログラミング教育に関する研修の充実	小R2、中R3 完全実施	小R2、中R3 完全実施	小、中 完全実施	カリキュラムへの導入100%

点検・評価の課題と今後の方向

（１）視覚情報モラルの向上を図る指導内容の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
情報モラル向上のための児童・生徒向け指導資料の作成・配布、情報教育に関する教員研修	・啓発資料を活用し児童へ指導を行うとともに保護者への啓発を行った。（蘭越小） ・情報モラルにかかわる資料を配付し、児童への指導と保護者への啓発を推進した。（昆布小） ・提供される資料を活用し、学級指導や道徳科の授業で扱った。年間を通した指導を行うことで生徒の意識も高まった。（中学校）	・まずは教員研修を実施。理解を深めた上で児童への指導を行う。（蘭越小） ・家庭への啓発と共に、教職員も研修会への参加を促す。（昆布小） ・資料の効果的な活用について生徒指導部を中心に検討し、教員で共有しながら取り組む。（中学校）

（２）情報教育に関する指導方法の工夫・改善

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
教育関係機関を結ぶネットワークの活用、情報教育に関する職員研修	・GIGA スクールタブレットを活用した授業に関する研修を実施した。（蘭越小） ・ネットワークを活用した授業の推進及び複式学級での効果的な活用、プログラミング教育の研修を実施した。（昆布小） ・公務支援システムの効果的な活用について、視聴覚係が中心となって研修に取り組んだ。（中学校）	・より効果的な研修の充実を図る。（蘭越小） ・GIGAスクールタブレットを活用した効果的な活用の研修の実施。（昆布小） ・学校間をつなぐ校務支援システムの効果的な活用を図る。（中学校）

（３）情報教育設備の整備・充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
高速情報通信ネットワークに対応したＩＣＴ機器の整備	・ギガスクール構想に伴う一人一台のタブレット端末の導入及び校内ネットワークを構築した。	今後、５Ｇ通信網インフラが整備される場合は、対応する機器等への更新を検討する。

施策項目 5　道徳教育の充実

目　　標

基本的な生活習慣の確立や最低限の規範意識だけでなく、自分への信頼感や自信などの自尊感情や他者への思いやりなどの道徳性を養うことと併せ、法やルールの意義やそれらを尊重することなどの意味を理解し、主体的に判断し、適切に行動できる人間を育てる。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（R元）	R元	R２	目標（R６）
規範意識や基本的な倫理観等の状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の決まりをまもっていますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合 ※R2 全国学力･学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　93.7% 中　97.3%	小　93.7% 中　97.3%	小　92.0% 中　96.6%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
自尊感情の状況	全国学力・学習状況調査において、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合 ※R2 全国学力･学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　93.7% 中　72.2%	小　93.7% 中　72.2%	小　76.0% 中　75.8%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
向上心の状況	全国学力・学習状況調査において、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合 ※R2 全国学力･学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　81.3% 中　69.4%	小　81.3% 中　69.4%	小　92.0% 中　65.5%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
生命の尊重や他者への思いやりの状況	全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合 ※R2 全国学力･学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　96.9% 中　88.9%	小　96.9% 中　88.9%	小　92.0% 中　96.5%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
社会参画への意識の状況	全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合 ※R2 全国学力･学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　62.6% 中　33.3%	小　62.6% 中　33.3%	小　72.0% 中　31.0%	８０％の児童生徒がどちらかを回答することをめざす

点検・評価の課題と今後の方向

（1）家庭や地域と連携を図り、多様な教育資源を活用した子どもの発達段階に応じた道徳教育の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域の人材活用や体験活動を取り入れた道徳教育の実践	・道徳ファイルを全児童分作成し学びの足跡を残しつつ、多様な価値観に触れ、理解が深まるよう進めた。（蘭越小） ・総合的な学習での地域の方との交流を通じ、効果的な学習を行った。（昆布小） ・人権教室や情報モラル教室など、外部人材を活用し、道徳教育の充実を図った。（中学校）	・ＣＳとも連携し、地域人材を積極的に活用していく。（蘭越小） ・今後も機会をつくり、行っていく。（昆布小） ・外部人材の発掘に努め、道徳教育の推進を図る。（中学校）
「道徳の時間」（「特別な教科である道徳（道徳科）」）の充実	・道徳推進教師が中心となり、研修に取り組んだ。また、授業参観で道徳を公開し、広く保護者地域の方々にも研修の成果を公開した。（蘭越小） ・参観日に各学級の授業を公開。また、道徳科授業交流を行い、授業力の向上を図った。（昆布小） ・指導方法や指導内容について校内研修で取り上げ、学校全体（全職員）で道徳の授業に取り組む体制を構築した。（中学校）	・取組を継続し、「道徳の時間」の授業の質を高めていく。（蘭越小） ・今後も、各担任間で授業交流を推進する。（昆布小） ・先進校の取組などを参考に、充実を図る。（中学校）

（2）道徳的価値の自覚を深めさせる指導の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
「総合的な学習の時間」などにおけるボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障がい者、外国人との交流の実施	・３年竹細工づくり、４年川の学習、５年米作り、６年蘭越で働く方々と交流を深める中で児童の内面の良い変容がみられた。（蘭越小） ・ボランティア活動として地域の清掃活動を行った。（昆布小） ・「職場体験」を通じて、勤労の意義や社会貢献について考える機会となっている。（中学校）	・継続と、ＣＳとの連携を図る。（蘭越小） ・今後も継続していく。（昆布小） ・様々な体験活動を取り入れることで、道徳的な価値の自覚を深めさせることができるよう、カリキュラムを工夫していく。（中学校）
家庭や地域と連携した道徳教育の実施	・町長の出前授業などの実施や、学習の様子を通信で周知し家庭でも同様の取組を依頼した。（蘭越小） ・事前に、家庭へ授業にかかわる協力（子どもへの励まし等）を依頼し効果的に行った。（昆布小） ・（中学校）人権作文や募金活動、異学年集団での学校行事の取組などを通じて、豊かな心の育成に取り組むことができた。	・新たな人材発掘と、ＣＳとの連携を図る。（蘭越小） ・学校運営協議会を活用し地域の人材発掘を図る。（昆布小） ・活動の趣旨の理解を図り、生徒の意識をさらに高める。（中学校）

施策項目 6　ふるさと教育の充実

目　　標

自分たちの住む地域の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業などに理解を深めるとともに、アイヌの人たちの歴史や文化、北方領土について正しい知識を身に付ける。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（R元）	R元	R２	目標（R６）
ふるさとへの関心の状況	全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した町内児童、生徒の割合 ※R2 全国学力・学習状況調査中止（児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　62.6% 中　33.3%	小　62.6% 中　33.3%	小　72.0% 中　31.0%	小 80%、中 80%をめざす
アイヌの人たちの歴史・文化に関する教育の実施状況	アイヌの人たちの歴史・文化に関する学習において、資料などを活用した調べ学習や体験を通した学習を行っている授業の割合（小・中学校）	調べ学習は行っているが、体験を通した学習は不十分	調べ学習は行っているが、体験を通した学習は不十分	調べ学習は行っているが、体験を通した学習は不十分	施設や人材等を活用した体験を通した学習の完全実施、100%をめざす
北方領土学習の実施状況	北方領土に関する学習において、資料等を活用した調べ学習や体験を通した学習を行っている学校の割合	調べ学習は行っているが、資料の活用は不十分	調べ学習は行っているが、資料の活用は不十分	調べ学習は行っているが、資料の活用は不十分	資料等を活用した調べ学習の完全実施、100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

（1）ふるさとの自然や歴史、伝統、文化、産業等に関する教育の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
学校における地域の施設や人材、自然環境などの教育資源を活用した学習活動	・5 年生で町長の出前授業、3 年生でお年寄りと仲良し（一灯園訪問）、4 年生で尻別川学習を行った。（蘭越小） ・総合的な学習の時間で学習活動の中で活用した。（昆布小） ・町内及び近隣町村で、職場体験学習（3 年で実施、令和 2 年度は 4 時間のみ）を実施し、地域の職業について理解を深めた。（中学校） ・花一会と連携して、調べ方や学び方など、調べ学習の基礎を身に付けることができた。（中学校）	・継続していく。（蘭越小） ・継続していく。（昆布小） ・職場体験学習については継続する。（中学校） ・花一会をはじめ、地域の人材や施設などの教育材の活用について、積極的に検討する。（中学校） ・旅行的行事を他の地域と比較しながらふるさとについて深く学ぶように検討する。（中学校）
小学校中学年社会科の町内巡り体験の充実	・3 年蘭越博士になろう、5 年米作り、6 年蘭越で働く人、で地域人材や企業、自然を活用して学習を深めた。（蘭越小） ・未実施（昆布小）	・継続【R3 はフロンティアキッズ事業(SDG’s) 5 年生の活動と共に】（蘭越小） ・R３は学校毎で実施する（昆布小）

（2）アイヌの人たちの歴史・文化などに関する教育の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
アイヌの人たちの歴史や文化などに関する学習活動、副読本の活用	・各学年での取り組みに加え、階段踊り場に北海道の歴史・北方領土、アイヌ文化コーナーを設けて掲示し、学習を深める一助とした。（蘭越小） ・４、６年生において実施した。（昆布小） ・１学年の総合的な学習の時間で取り組み、アイヌの歴史や文化について考えさせることができた。（中学校）	・リニューアルしながら掲示していく。（蘭越小） ・今後も継続し実践の深化を図る。（昆布小） ・民族共生空間ウポポイの利用を通して、学習の継続と指導方法の工夫・改善を図る。（中学校）

（3）北方領土に関する教育の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
北方領土に関する学習活動、資料を活用した調べ学習の取組	・4年北方領土、階段踊り場に北海道の歴史・北方領土、アイヌ文化コーナーを設けて掲示し、学習を深める一助とした。（蘭越小） ・社会科で学習した。（昆布小） ・社会科の授業で、資料を活用して調べ学習を行い、主体的に学習に取り組ませることができた。（中学校）	・リニューアルしながら掲示していく。（蘭越小） ・効果的な資料の活用及び調べ学習の研修の充実を図る。（昆布小） ・学習内容や学習方法の改善を行いながら学習を継続する。（中学校）

施策項目　7　読書活動の推進

目　　標

すべての子どもが、人生をより深く生きる力を身に付けられるよう、自主的な読書活動のための環境整備を図る。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年	R元	R2	目標（R6）
幼児・児童・生徒1人当たりの年間図書貸出冊数	学校図書における、町内児童・生徒1人当たりの図書貸出冊数	小19.0冊 中　3.9冊 (H30)	小 16.1冊 中　3.5冊	小16.4冊 中 2.4 冊	小25冊 中 5冊
読書が好きな児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査において「読書は好きですか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内小学6年生、中学3年生の割合	小　73.1% 中　72.2% (R1)	調査項目なし	調査項目なし	小80% 中80%
家庭での読書の状況	全国学力・学習状況調査において「家や図書館で普段1日当たりどれくらいの時間読書しますか」に対して「10分以上」と回答した町内小学6年生、中学3年生の割合	小　73.0% 中　61.1% (R1)	小　68.8% 中　61.1%	小　56.0% 中　58.6%	小80% 中70%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校図書館や花一会図書館の利用促進

① 令和2年度の取組の概要	② 令和2年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
学校図書館の利用促進と花一会図書館との連携	・授業で必要な図書の準備や平行読書、読み聞かせ等、図書館司書を中核として実施した。(蘭越小)	・継続していく。(蘭越小)
	・本の貸し出しや、朝読書の取組みで学校図書館の活用や本の活用を図り、必要に応じ、花一会からの貸し出しも依頼し連携を図った。(昆布小)	・継続し、より充実させていく。(昆布小)
	・「ブックトーク」や「調べ学習の補助」など、花一会図書館と連携を積極的に行った。(中学校)	・引き続き、花一会図書館と連携を図り、学校図書館の利用促進を図る。(中学校)

(2) 学校図書館の環境整備

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校図書館の充実整備	・花一会図書館と連携し、学校図書の管理、整理、特設コーナーの設置と更新をきめ細やかに実施した。(蘭越小)	・継続していく。(蘭越小)
	・週１回花一会巡回による蔵書の整理や整備・貸出業務の推進を図った。(昆布小)	・継続していく。(昆布小)
	・花一会図書館と連携して、生徒の要望や中学生にふさわしい本を選定して補充した。(中学校)	・生徒数に応じた図書の整備と、蔵書の内容充実を図る。(中学校)

(3) 家庭での読書環境づくりの啓発

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭・地域・学校等の連携推進	・学校全体での朝自習の取組や各学級での家庭学習等の取組の中で、読書に親しむ時間を設定した。(蘭越小)	・図書館司書と連携しながら、学校全体で継続した取り組みを行う。(蘭越小)
	・本の貸し出しや、家庭での読書推進の啓発を参観日やお便りで行ったが、家庭での読書時間は児童によりばらつきがあると思われる。(昆布小)	・読書時間の確保について呼びかけを継続する。(昆布小)
	・学校における読書習慣は身に付いているものの、学校評価アンケートにおいて、読書習慣の定着について保護者と生徒の認識にずれがある。(中学校)	・今後、生徒会活動やPTA活動、学校便りを通じた家庭での読書に結びつくような取組、啓発を行っていく。(中学校)

施策項目 8　生徒指導・教育相談の充実

目　　標

家庭や地域との連携を一層強化し、共感的な理解に基づく児童生徒理解や評価を工夫するなど、自己指導能力を育てる生徒指導の充実に努める。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年	R元	R２	目標（R６）
いじめの解消の状況	文部科学省調査の「いじめの認知件数」のうち、「解消しているもの」の割合	小　100% 中　100% (H30)	小　78.3% 中　100.0%	小 100% 中 100%	引き続き 100%をめざす
いじめに対する意識	全国学力・学習状況調査結果において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」という問いに対して「当てはまる」と回答した町内小学校６年生、中学校３年生の児童生徒の割合 ※R2 全国学力・学習状況調査中止 （児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　93.8% 中　77.8% (R1)	小　93.8% 中　77.8%	小　92.0% 中　82.8%	すべての学校で 100%をめざす
ネットトラブルの未然防止の取組状況	携帯等の利用に関する「家庭内でのルール」等の整備状況	未実施 (R1)	未実施	未実施	利用（所持）家庭のすべてで 100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

（１）学校における相談体制の充実や家庭・地域社会との連携を通した生徒指導の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
スクールガードリーダーの巡回 （小学校）	・実施した。（蘭越小） ・定期的に巡回が行われた。（昆布小）	・継続し、相談体制の充実を図る。（蘭越小） ・事故の未然防止と安全意識を高めるため、今後も継続を望む。（昆布小）
スクールカウンセラー配置 （中学校）	・年間を通して、職員への助言や情報交流を行えたことで、生徒の支援や問題行動の予防・早期発見等に効果的であった。	・スクールカウンセラーとの連携を強化し、学校課題に合った取組を推進する。

（２）いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の未然防止・早期対応

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
いじめアンケートの実施等	・年２回実施。一人一人に丁寧に聞き取りを行うことで早期発見・解決につながった。（蘭越小） ・年２回実施。未然防止および早期発見、解決につながった。（昆布小） ・アンケート結果に対する迅速な対応により、未然防止や早期発見・早期解決につなげることができた。（中学校）	・継続し、いじめ撲滅を目指す。（蘭越小） ・今後も行い、未然防止に努める。（昆布小） ・他の調査や教育相談と併用して、効果的な活用を図る。（中学校）

教職員全員による教育相談等の取組	・担任を中心に全児童の面談を実施。また、必要に応じて随時面談を実施した。（蘭越小） ・アンケート結果をもとに、教育相談を実施。教職員間での情報共有に努め、未然防止や早期発見に努めた。（昆布小） ・教育相談の実施を教育課程に位置づけるとともに、適宜相談に応じることで丁寧に対応した。（中学校）	・相談しやすい環境を作り、問題行動の未然防止・早期発見を図る。（蘭越小） ・教職員全員で子どもの行動に気を配り、情報を共有し、問題行動の未然防止に努める。（昆布小） ・教育相談の内容を全職員で共有し、学校全体で取り組む体制を強化する。（中学校）

施策項目 ９　体力・運動能力の向上

目　　標

学校生活や家庭生活を通じ、日頃から運動に親しませ、体力をしっかり身につけさせる。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	Ｒ元	Ｒ２	目標（Ｒ６）
児童生徒の体力・運動能力の状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合得点の町内児童生徒の値（小学５年生、中学２年生） ※R2 全国体力･運動能力調査中止	全国平均と比較し、小学生はやや上回り、中学生は同程度	小５男 同じ 小５女 同じ 中２男 ほぼ同じ 中２女 同じ	小５男 － 小５女 － 中２男 － 中２女 －	小中学校ともに全国平均を上回る
体育の授業以外での運動・スポーツの実施状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、普段の一週間で学校の授業以外で行う運動やスポーツの実施時間 ※R2 全国体力･運動能力調査中止	小男 12.8 時間 小女 5.2 時間 中男 13.4 時間 中女 13.0 時間	小男 10.0 時間（全国 9.3 時間） 小女 6.3 時間（全国 5.8 時間） 中男 20.6 時間（全国 13.9 時間） 中女 15.4 時間（全国 10.2 時間）	小男　－時間（全国　－時間） 小女　－時間（全国　－時間） 中男　－時間（全国　－時間） 中女　－時間（全国　－時間）	小男・中男女は現状維持、小女は全国平均

点検・評価の課題と今後の方向

（１）体育・保健体育授業の改善

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
児童・生徒の体力、運動能力の把握と課題への対応	・全国体力･運動能力調査画中となったことから学校独自に実施し現状を把握した。（蘭越小） ・全学年において５０ｍ走を行い、結果分析を行った。（昆布小） ・全校生徒で対象に新体力テストを実施して、体力・運動能力を把握し、保健体育の授業改善等に取り組んだ。（中学校）	・体幹、柔軟性、筋力は学年によってばらつきがみられるため、改善に取り組む。（蘭越小） ・分析結果を活用し授業改善に取り組む。（昆布小） ・体力テストを年2回実施して、丁寧な体力・運動能力の把握に努めるとともに、教職員内で情報や対策について共有する。（中学校）
体育科以外での運動機会の提供	・放課後の時間を活用し、体力向上を目的とした種目に、遊びの要素を加え取り組んだ。（蘭越小） ・休み時間や放課後子ども教室及びスポーツ少年団と連携し運動の機会提供に努めた。（昆布小） ・運動部活動の推進と専門委員会による昼休みの体育館開放活動を実施し、運動に親しむ習慣作りに努めた。（中学校）	・継続していく。（蘭越小） ・今後も運動機会の提供に努める。（昆布小） ・健康安全・体育的行事を効果的に活用し、運動機会の充実と運動に対する意識を高める。（中学校）

（2）少年団活動・運動部活動の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
部活動指導員の活用(中学校)	３つの部活動で部活動指導員を導入し、専門的に指導していただいたことで、より有意義な部活動経営につながった。	部活動指導員との連携を密にし、その効果的な活用を図る。
スポーツ少年団活動の実施 (小学校)	・少年団員の減少が著しい少年団については近隣町村と合併することで活動の存続を図った。(蘭越小) ・卓球、バドミントン、クロカンなど、外部講師を招聘し、活動を行った。(昆布小)	・ＣＳとの連携を視野に地域人材の活用を推進する。(蘭越小) ・社会教育と連携し、活動の継続・推進を図る。(昆布小)

（3）運動・スポーツ施設の整備と運動機会の充実

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
体育施設・用具の充実	・メンテナンスや更新が必要なものの把握を行った。(蘭越小) ・クロスカントリースキー板の購入を行った。(昆布小) ・体育館の暖房設備の増設や暗幕の付け替えにより、生徒にとって安心して運動に取り組める環境を整備することができた。(中学校)	・町教委と連携しながら施設のメンテナンス・更新を計画的に進める。(蘭越小) ・古くなった物や、必要な物がある場合は、計画的に更新整備していく。(昆布小) ・ボールや高跳びマットなど用具を整備することで、利便性と安全性を高めていく。(中学校)

施策項目　１０　食育の推進

目　　標

学校・家庭・地域がお互いに連携しながら、児童生徒に食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成に努める。また、安全・安心な学校給食を提供するため、衛生管理の徹底を図るとともに、地場産物食材の積極的な活用に努める。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	R 元	R2	目標(R 元)
児童生徒の朝食摂取の状況	全国学力・学習状況調査において、「朝食を毎日食べていますか」の設問に対して、「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童・生徒の割合	小=95.0% 中=90.9%	小=93.6% 中=97.5%	小=96.9% 中=88.9%	100％をめざす
学校給食における地場産物の活用状況	学校給食における地場産物の購入状況（購入額における割合%）	7.8%	9.98%	9.29%	12％以上をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育における食育の推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
・　各学校と連携・協力し、食事の重要性やマナー、望ましい食事の摂り方の授業の実施	・蘭越小で 6 回、食に関する授業を実施した。昆布小、中学校は休校による授業時数不足で未実施。 ・栄養教諭は、給食の献立・栄養管理等の業務を最優先することから、授業は、学級担任や養護教諭と連携し計画的に取り進める。	・各学校の指導計画に基づき、学級担任や養護教諭等と 連携を図りながら、年１回以上の食育教育を実施する。

(2) 地域に根ざした食育の推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
・給食便りに、食材の産地名や蘭越産野菜の表示を実施 ・行事食の積極的な取り入れ	・給食便りに、献立ごとに説明（産地名等）の記載を継続。 ・ 4 月入学お祝いデザート、5 月柏餅、10 月お月見デザート、12 月クリスマス献立、１月蘭越産野菜使用の蘭越カレーライス提供。 ・ 地場産野菜の使用を可能な限り優先。ＪＡようていトマト生産組合蘭越支部から８月にトマト 500 個、ＪＡようてい青年部蘭越支部から 12 月に特別栽培米（ななつぼし 60ｋｇ）の寄贈を受け給食に提供。	・ＪＡ、地元納入業者、産直会などと連携調整し、積極的に地場産品を活用する。

(3) 学校給食における衛生管理の徹底

① 令和元年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
・ 保健所による一斉点検の指摘事項等の早期改善	・保健所の監視・指導（R2.11）による指摘事項は、全て対策を講じた。	・ 調理員を研修会に参加させるなど、衛生管理の意識の高揚に努める。

施策項目 １１　学校段階間の連携・接続の推進

目　　標

児童生徒の発達段階に応じた教育の充実を図り、小中一貫教育の推進や、幼保小、小中、中高の学校段階間の円滑な接続や教科等横断的な学習を重視する。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	Ｒ元	Ｒ２	目標（Ｒ６）
小中の連携の状況	教職員による合同研修の実施状況	年１回	年１回実施（町教研）	年１回実施 （町教研）	年２回実施
乗り入れ授業の実施状況	中から小、高から中への英語の乗り入れ授業の実施状況	未実施	未実施	中→小 乗入授業　10回 交流授業　3回 高→中 乗入授業　1回 交流授業　7回	年２回実施
乗り入れ授業、交流授業の実施状況	小・中双方の教員による授業公開・授業交流、高校教員による中学校の授業参観の実施状況（英語科以外の教科）	授業公開 年１回 授業交流 未実施	授業公開 年１回 授業交流 未実施	授業公開 年１回 授業交流 未実施	授業公開年２回 授業交流年１回

点検・評価の課題と今後の方向

（１）９年間を見通した教育課程の編成

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
発達段階に応じた系統的な教育課程の編成	・授業参観、乗り入れ授業を実施する中で児童の状況を把握し、教育課程編成に活用した。（蘭越小） ・発達段階に応じた学習規律の徹底と改善を行った。（昆布小） ・中学校の教育課程見直しと改善は充実したが、小学校の教育課程を踏まえた実施については十分ではなかった。（中学校）	・連携を密に行い児童の状況に応じた教育課程編成の改善を図る。（蘭越小） ・学習規律、持ち物、家庭学習指導など、学年に応じたきめ細やかな指導を進める。（昆布小） ・小中で教育課程交流会を複数回実施し、各校の教務主任が中心となって９年間を見通した教育課程の編成・実施に努める。（中学校）

（２）発達段階に応じた系統性のある学習規律や生活のきまりの定着

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
発達段階に応じた系統性のある学習規律や生活のきまりの定着	・蘭越小学校の学習規律や生活のきまりは作成、定着してきています。小中の連携が課題です。（蘭越小） ・発達段階に応じた学習規律の徹底と改善及び、生活リズムチエックシートにより、生活習慣の改善を行った。（昆布小） ・中学校段階における学習規律や生活の決まりについての定着や見直しを適宜実施することができた。小学校からの系統性については、教育課程交流会において交流するにとどまった。（中学校）	・９年間を見通した規律や決まりとなるよう進めます。（蘭越小） ・今後も継続する。（昆布小） ・教育課程交流会を中心に小中の連続性を図る。（中学校）

施策項目 １２　学校運営の改善

目　　標

教職員が子どもと向き合う時間を確保できるよう、多忙化の解消に向けた働き方改革を推進するとともに、学校のマネジメント機能の強化を図り組織として教育活動に取り組む体制を構築する。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	R元	R２	目標（R６）
在校時間から勤務時間等を減じた時間	教職員の在校時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間数を１か月で45時間以内、１年間で360時間以内	調査未実施	調査未実施	一部の教員においては達成できていない	100%
定時退勤日の実施状況	業務改善や勤務時間の意識化による月２回の定時退勤日の実施状況	調査未実施	完全実施	完全実施	100%
部活動休養日の実施状況	特別な場合を除いて、平日１日、土・日どちらか１日の部活動休養日の実施状況	調査未実施	未実施	完全実施	100%

点検・評価の課題と今後の方向

（１）教職員の時間外勤務等の縮減に向けた「蘭越町アクションプラン」の取組

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
学校閉庁日や定時退勤日等の取組	・閉庁日は夏３日、冬６日の９日間設定。定時退勤日は月２回設定した。（蘭越小） ・学校閉庁日は閉庁されている。定時退勤日は意識付けを行っている。（昆布小） ・夏季休業中に３日間、冬季休業中に８日間の閉庁日を設け、月に２度の定時退勤日を設定して、実施することができた。（中学校）	・毎週金曜日に設定し、働き方に応じて月２回取得を目指します。（蘭越小） ・定時退勤日を職員に意識付け、声かけする。（昆布小） ・生徒指導等緊急性がない場合は、定時退勤ができるように、計画的な業務推進を徹底する。（中学校）

（２）部活動の改善に向けた「蘭越町立学校に係る部活動の方針」の取組

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
生徒のバランスのとれた学校生活や教師の部活動指導における負担軽減	・生徒の学校生活については、休日が２日間設けられ、自身で考えて生活できるようになっているが、生活リズムを崩すことに結びつく生徒もいる。 ・部活動指導員の導入によって、教師の部活動指導における負担が軽減された。	・家庭での生活リズムが調整されていくように、生徒・保護者へ啓蒙していく。 ・今後、部活動指導員が継続していくように人材の発掘に努めるとともに、地域との連携の形を整える。

施策項目 １３　学校安全教育の充実

目　　標

自他の生命尊重の理念に基づいて、児童生徒が自ら危険を予測・回避し、他の人や社会の安全に貢献できる資質能力を育成する。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	Ｒ元	Ｒ２	目標（Ｒ６）
安全学習	学校安全の全体計画を策定し、各教科の年間指導計画に計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った学校の割合	全体計画、年間指導計画において位置付けを行っているが、計画性、系統性が不十分	計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った学校　１／３校（→蘭小）	計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った学校　１／３校（→蘭小） 計画的な実施に向け、年間指導計画の一部見直しを行った学校　１／３校（→蘭中）	100%をめざす
安全指導	家庭や地域、社会教育と連携し、学級活動、学校行事などにおいて安全に生活する態度を育成する活動を行った学校の割合及び実践事例	家庭や地域、社会教育と連携した安全に生活する態度を育成する実践が不十分	家庭や地域、社会教育と連携した安全に生活する態度を育成する実践が不十分	家庭や地域、社会教育と連携した安全に生活する態度を育成する実践が不十分	１００%をめざす 実践事例の蓄積

点検・評価の課題と今後の方向

（１）安全学習

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
学習活動における取組	・道徳、特別活動を中心に実施した。（蘭越小） ・道徳や特別活動の時間に実施した。（昆布小） ・保健体育科を中心に集団における行動について指導するとともに、食の安全や機器の取り扱いなど各教科において学習した。（中学校）	・継続していく（蘭越小） ・計画性、系統性の改善を図る。（昆布小） ・学習した内容が日常生活につながるような系統だった指導の工夫に努める。（中学校）

（２）安全指導

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
学校生活や学級活動、学校行事における取組	・自転車・歩行教室、遠足、旅行的行事、を中心に実施した。（蘭越小） ・スクールバス指や自転車教室を中心に実施した。（昆布小） ・交通安全教室や防犯教室など３年間を見通して、適切な行動を身に付けるよう指導している。（中学校）	・関係機関との連携強化を図る。（蘭越小） ・関係機関との連携強化を図る。（昆布小） ・主体的に振り返ったり、改善を図ったりする場を設けていく。（中学校）

（3）防災教育

① 令和２年度の取組概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
避難訓練の実施	・6月の地震、8月の不審者、10月の火災を実施した。（蘭越小） ・年2回行っており、安全意識の高揚につながっている。（昆布小） ・年に2回の避難訓練（火災と地震）と避難所運営ゲーム（1年）を通して、被災時の適切な行動について身に付けることができた。（中学校）	・継続していく（蘭越小） ・継続していく。（昆布小） ・総合的な学習の時間を通して、地域に潜む災害のもとやそれに応じた対策について深め、防災意識を高める。（中学校）

施策項目 14　学校と地域の連携・協働の推進

目　　標

学校と地域が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育んでいくため、学校と地域がパートナーとして連携・協働した組織的な取組の推進。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	R元	R２	目標（R６）
地域への参加の状況	全国学力・学習状況調査の「地域社会などでボランティア活動に参加したことはあるか」に対して「ある」と回答した児童生徒の割合 ※R2 全国学力・学習状況調査中止（児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　74.2% 中　69.2%	質問項目なし	質問項目なし	小 90%以上 中 90%以上
地域とのかかわりの状況	全国学力・学習状況調査の「地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったか」に、「ある・どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合 ※R2 全国学力・学習状況調査中止（児童生徒質問回答結果のみ集計）	小　90.3% 中　82.1%	質問項目なし	質問項目なし	小 100% 中 100%
コミュニティ・スクールの導入	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、各学校において効果的な運用を図る	未導入	未導入	未導入（設立準備委員会を設置し導入に向けた協議を行った。）	導入

点検・評価の課題と今後の方向

（１）コミュニティ・スクールの導入・推進

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
地域の教育力や特色を活かした学校づくり・子どもの活動拠点づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進	令和３年度学校運営協議会の設立に向け、必要事項の調査及び審議を行う準備委員会を設置し、協議・検討を行った。	地域学校協働活動をより一層推進するために学校運営協議会体制を構築するとともに、その活動の充実を図る。

（２）特色ある学校づくりの推進

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
学校と地域をつなぐ人材の活用した特色ある学校づくり	・学校だより等を活用し、学校での取り組みを地域住民へ周知した。また、迅速で確実な情報伝達のため電話での学級連絡網を廃止し安心安全メールを活用することを検討した。（蘭越小） ・総合的な学習で、地域の人材を活用するなどして地域の特性を再認識する授業を行っている。（昆布小） ・ブックトークの指導に花一会図書館に協力いただいたり、音楽の箏の授業に外部から指導者を招いたり、より専門的で体験的な学習を目指した。（中学校）	・開かれる学級づくりを継続し、家庭訪問、懇談、学校だよりや学級通信を活用し、保護者、地域と双方向の連携を構築する。（蘭越小） ・今後も活用に努めていく。（昆布小） ・教科に限らず、様々な学校の活動に生かせる人材を確保するとともに、学校にも地域にもプラスになるような取組につなげていく。（中学校）

施策項目 15　地域に根ざした高校づくりに向けた支援

目　　標

蘭越高校で学びたい、学ばせたいという認識と蘭越高校が地域に欠くことのできない学校であるという認識の醸成による入学者の確保。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年	R元	R２	目標（R６）
蘭越中学校からの蘭越高校への入学率	高校存続に向け、地元の生徒の入学率の維持向上	10% (R1)	24% （10/42 人）	30% （12/40 人）	33%
学校間連携による外国語の授業の実施	高校の教員・生徒による幼保小中への乗り入れ授業、ＴＴ※等の実施	未実施 (H30)	未実施	高→小 １回実施 高→中 乗入授業　1回 交流授業　7回	すべての校種での実施を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

（１）生徒募集に向けた効果的な支援

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
生徒のニーズや資質を把握したきめ細かな学習指導や進路指導	3 年間を通してキャリア教育を実施し、生徒自身が様々な職業について体験することで、自分の特性や興味・関心のある職業について考える機会となっている。また、1・2 年時には 2 回、3 年時には 3 回の進路希望調査を行い、教育相談等を通じて細かな進路指導に努めている。	コロナ禍でキャリア教育について制限が多い中ではあるが、生徒が体験できる機会の確保に努める。

（２）連携した外国語教育の充実

①　令和２年度の取組概要	②　令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校が連携した外国語教育の充実	・高校教員による乗り入れ授業と併せ高校生が指導補助として 1 回授業に参加した。（蘭越小） ・中学校英語教員の外国語授業への乗り入れ授業を行った。（昆布小） ・３回のワーキングチーム会議、３回のコンソーシアムを通して、町の取組の方向性について確認しながら推進することができた。また、交流や乗入授業を通して、小中高の９～12 年間を見通した外国語教育について理解を深めることができた。（中学校）	・取組階数の増を目指す。（蘭越小） ・高校との交流も行い、交流の幅を広げていく。（昆布小） ・学校間の接続をよりスムーズになるよう、乗入授業の工夫・改善を図る。（中学校）

施策項目　1-6　家庭の教育力の向上

目　　標

子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組みを促進し、親子と地域のつながりをつくる取組みを行いながら、社会全体で支える体制づくりを進めます。また、子育て中の保護者が、気軽に悩みを共有できるきっかけになる場の提供に努めます。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	R元	R２	目標(R６)
家庭教育に関する適切な情報提供	専門家の視点での情報提供回数	町広報紙の生涯楽習情報コーナーに、年5回掲載	年5回 (継続掲載)	年5回 (継続掲載)	年5回 (継続掲載)
相談体制の整備	家庭教育に関する専門相談窓口の紹介	ﾎﾟｽﾀｰ掲示による専門相談窓口の紹介	継続	継続	町HPからのリンク
学習機会の充実	町青少年健全育成推進委員会や町 PTA 連合会との連携により開催している「青少年健全育成研究集会」の内容	毎年、講演内容や生徒発表のテーマを変え実施	・講演会 (ｽﾏﾎ依存) ・蘭高生実践発表(4種類)	講演会 ・SNS等のﾈｯﾄﾄﾗﾌﾞﾙ ・成長期の足づくり	学校・家庭・地域が相互学習できる場になるよう、内容充実に努める

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭教育に関する適切な情報提供

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
定期的な家庭の教育機能の回復に役立つ情報の提供	保護者による体罰を禁止する改正児童福祉法の内容をもとに、「体罰としつけ」をテーマにして、町広報紙の生涯楽習情報コーナー「こぶしにまなぶ」に掲載し、情報提供を行った。	時代に対応した適切な情報を、切れ目なく提供する。令和３年度は、家庭で伝えたい「消費者教育」の予定。

(2) 相談体制の整備

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子育てに不安や悩みを持つ保護者からの相談に応えるため、関係機関や専門家による相談窓口を紹介	ポスター掲示、パンフレットを活用し、関係機関や相談窓口の紹介を行った。	ポスター、パンフレット以外の紹介方法を検討する。

(3) 学習機会の充実

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校・家庭・地域が連携し、家庭教育に関する学びや悩みを共有し、対象者が集まりやすい学習機会の提供	青少年健全育成研究集会兼町 PTA 連合会研究大会を、コロナ感染防止対策として、人数制限あり２部構成のオンライン講演会にし開催した。１部２部の講演会テーマを変え、興味のあるテーマを選択して参加できるようにし、密を避けながら実施した。	家庭・学校・地域が相互学習できる場になるよう、内容の充実に努める。

施策項目　１７　子育て支援の充実

目　　標

地域の力を結集して、子育て支援の取組みを行い、地域全体で子どもが見守られているという安心感を保護者に与えられる体制整備を進めるとともに、子育てを支援する地域の人材発掘と育成に努めます。また、参加しやすい親子コミュニケーションの場の提供に努めます。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	R元	R２	目標(R６)
子育て中の親子の交流機会の提供	就学前親子交流事業「まめっこクラブ」の参加世帯数	まめっこクラブ 7世帯(30世帯中)	まめっこクラブ 9 世帯(30世帯中)	コロナ感染拡大防止のため、活動中止	就学前年長児世帯数の3割をめざす
地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進	放課後子ども教室の週開設日	家庭・学校・地域の関係団体の協力のもと、放課後子ども教室の開設日を週5日まで拡大した	維持	維持	放課後子ども教室の週5日開催（維持）

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 子育て中の親子の交流機会の提供

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子ども同士の交流と保護者の仲間づくりの機会を提供	コロナ感染症の感染拡大を防止するため、就学前親子交流事業「まめっこクラブ」活動中止。まめっこクラブの中で実施する予定だった事業の一つを、感染防止対策をとりながら、親子交流体験事業「新１年生小学校入学体験」として単独開催した。親子９組が参加。	参加しやすくするため、会員登録制から事業ごとに参加者を募集する形式に変更する。

(2) 地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
地域や学校の実情を踏まえながら、放課後の子どもたちが安全安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点づくりに努める	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを進めるため「昆布小学校放課後子ども教室」を開設。H29年度から週５日開設。 放課後子ども教室用の感染防止マニュアルを作成し、感染防止対策をとりながらR2.4.13から開始。R2.4.20～R2.5.29　コロナ感染症の影響により学校休業中は、中止。 開設日数170日　当初予定191日 会員数　昆布小学校児童35人 /全校児童37人	コロナ感染症の感染防止対策をとりながら、地域や学校の実情を踏まえ、放課後の子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点を維持する。

施策項目　１８　多種多様な学習機会の充実

目　　標

学んだ成果が生かされる各種体験教室や各種講座の継続開催に努め、障がいの有無を問わず、だれもが学びのきっかけとなる学習機会を提供します。また、多様な学習ニーズに応じることができるよう、様々な分野の知識や技術、技能を持って活動している人材の把握に努めるとともに、生涯学習の概念が定着してきたことから、生涯楽習フェスティバルのあり方を見直します。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	Ｒ元	Ｒ２	目標(Ｒ６)
生涯学習活動の充実	学んだ成果を生かす場の提供	サークル・団体の協力を得ながら、各種体験教室や各種講座を開催している	生涯学習ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ、町民ｾﾝﾀｰ講座の開催	夏季町民ｾﾝﾀｰ講座は中止。冬季は、人数制限あり実施。	学んだ成果を生かす場の効果的な開催をめざす
学習情報の提供	町広報紙への生涯楽習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の掲載回数	年１２回	年１２回	年１２回	年１２回（維持）

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 生涯学習活動の充実

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
日頃の学習成果を発表、紹介する機会を提供する	令和元年度の開催を最後に生涯楽習フェスティバルを終了したため、生涯楽習サークル合同交流会や町民センター講座を活用して、体験と発表の場の拡充を図る予定だったが、コロナ感染症の影響により夏季町民センター講座を中止した。冬季町民センター講座は、人数制限の上、感染対策を取りながら３講座（しめ縄づくり、木工クラフト、竹細工）を実施。 サークル活動そのものが、ままならなかったため、生涯楽習サークル合同交流会も中止となった。	人数制限を設けて密をさけ、感染予防対策をとりながら、町民センター講座や生涯楽習サークル合同交流会を開催し、発表の場を提供する。

(2) 学習情報の提供

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
身近な生涯学習の取組みを紹介し、町広報紙の生涯楽習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の内容充実を図る	教育委員会や関係機関・団体が実施した事業や翌月の行事など、身近な生涯学習活動を紹介したほか、家庭教育通信を継続して掲載した。	内容の充実に努め、継続して発行する。

施策項目　１９　生涯学習体制の充実

目　　標

生涯学習推進委員会の各部会を中心に、生涯学習推進計画「らんらんプラン２１」の定期的な点検を継続するとともに、生涯学習ボランティアを育成、活用する体制づくりに努めます。また、庁内関係部署や関係機関において様々な視点で開催されている町全体の生涯学習に関する事業を把握し、学習機会の情報提供を行います。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	R元	R２	目標(R６)
学習機会の情報提供	生涯楽習カレンダー(年間予定表) の発行月	４月発行	４月発行	４月発行	４月発行（維持)
生涯学習推進体制の充実	生涯学習推進計画の定期的な点検・評価・改善の継続	年度末に点検、評価を行い、次年度の計画に反映させている	継続	継続	継続

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学習機会の情報提供

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
生涯学習に関連する様々な事業の年度日程を把握した生涯楽習カレンダーを発行し、年間を見通した学習機会の情報を提供する。	各学校、幼稚園、保育所、図書館、生涯学習課、スポーツ課等の各種事業をカレンダー形式にとりまとめ、４月に発行した。 １ページに２か月分を掲載していたが、１ページに１か月分を掲載するよう令和２年度から様式を変更した。	各関係機関と連携しながら、４月発行を維持する。

(2) 生涯学習推進体制の充実

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
生涯学習推進委員会による生涯学習推進計画の定期的な点検確認を行い、生涯学習事業の内容の充実を図る。	生涯学習推進委員会の各専門部会による担当領域事業の評価(前期・後期)を行い、全体会議で各専門部会の評価を共有し、翌年度の取組みへ反映させている。	第６次蘭越町生涯学習推進計画「らんらんプラン」の内容を実行するため、点検、評価、反映のサイクルを維持する。

施策項目　２０　生涯各期の社会教育活動の推進

目　　標

生涯学習の基礎となる「自ら学ぶ」「学びたい」の動機付けやきっかけとなるよう、より身近な学習機会の提供に努めます。また、高齢化時代に対応した高齢者向けの交通安全教室を行うなど、人生のライフステージにおける課題や学びの方向性を示し、関係機関と連携した事業展開を図ります。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	R元	R２	目標(R６)
学校教育と連携した活動の推進	学校からの要請により、地域の人材を派遣する	学校教育と連携した活動の推進	小学校教科学習への支援	小学校教科学習への支援	派遣する地域人材の把握と育成をめざす
地域と連携した活動の推進	イングリッシュキャンプの参加人数	57人（116人中）	38人（125人中）	ｺﾛﾅ感染症により開催中止	小学校 3～6年の児童数の 30％の参加をめざす
いきいきとした学習活動の推進	高齢者学級自主運営	会員の高齢化、会員数の減少	会員41人自主運営	会員35人自主運営による高齢者学級終了	活動内容を精査し、自主運営と事業充実をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育と連携した活動の推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
学校からの要請により地域の人材を派遣する学校支援地域本部事業の充実を図る。	総合的な学習の時間や各種体験活動に人材を派遣した。また、蘭越町交通安全指導員と連携し、下校時見守り支援を実施した。	生涯学習ボランティアバンクの更新を行い、地域人材を把握し、支援の拡充を図る。

(2) 地域と連携した活動の推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
地域と連携しながら、時代に即した世代間交流を図る。	1泊2日のｲﾝｸﾞﾘｯｼｭｷｬﾝﾌﾟは、感染予防対策が難しく、また、町内小学校の夏季休業が短縮され日程がとれなくなったことにより開催中止。	1泊2日の日程から、1日日程へ変更し、コロナ感染対策を取りながら開催する。

(3) いきいきとした学習活動の推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
高齢者学級「蘭寿大学」自主運営の支援	コロナ感染症により、予定事業はすべて中止。会員の高齢化が進み自主運営ができなくなり、令和２年度末をもって、会員の自主運営による高齢者学級「蘭寿大学」閉校。	高齢者学級「蘭寿大学」の名称は残し、高齢者社会教育事業は生涯学習課で企画し、その都度参加者を募る。

施策項目　２１　芸術文化活動の推進

目　　標

芸術鑑賞や伝統文化に触れる機会を充実させるとともに、地域の文化を担う人材育成の取組みに努めます。また、郷土芸能の後継者育成のための伝承活動支援に努めます。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	Ｒ元	Ｒ２	目標(Ｒ６)
芸術の鑑賞機会の提供	児童生徒を対象とした舞台芸術の提供機会回数	年１回	年１回(演劇)	中止	年1回(維持)
郷土芸能伝承活動への支援	老朽化した道具の更新	太鼓を更新（新規２台)	太鼓修理の年次計画作成	太鼓修理(２台)	年次計画により補修を進める
(仮称)曲子光男記念館の整備	本町出身の日本画家　曲子光男氏の作品群を活用、保管するための(仮称)曲子光男記念館の整備	(仮称)曲子光男記念館検討委員会において、検討中。令和元年９月答申された。	答申内容をもとに、庁舎内検討委員会にて検討	庁舎内検討委員会の検討終了	教育文化活動への活用と劣化を防ぐための収蔵設備の整備を進める

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 芸術の鑑賞機会の提供

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
子どもの豊かな感性や個性を育むために、児童生徒を対象とした舞台芸術の鑑賞機会を提供する。	例年、蘭小体育館を会場に、町内の小学生、幼児等250人以上が鑑賞しており、会場内の密を避けられないため舞台芸術の鑑賞機会を提供できなかった。 蘭越町文化祭は中止されたが、児童生徒絵画書道展入賞作品のみ展示した。	生の舞台芸術の鑑賞機会が少ない地域でもあり、広い会場を確保し開催する。 児童生徒絵画書道展は、他校の入賞作品を鑑賞する機会として展示を継続する。

(2) 郷土芸能伝承活動への支援

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
郷土芸能保存と伝承を行っている団体の活動を支援するとともに、発表機会の提供に努める。	昆布渓流太鼓保存会の太鼓２台を補修した。(3年間で6台の補修を実施) コロナ感染症の影響により、蘭越町文化祭や蘭越町芸能文化祭を中止したため、発表機会を提供できなかった。 町内各地の祭事も中止されたことにより各種神楽も披露できなかった。	年次計画により太鼓２台を補修する。 コロナ感染症の状況を考慮しながら、発表の場として文化祭や芸能文化祭の開催を検討する。

(3) (仮称)曲子光男記念館の整備

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
答申の内容に基づき、(仮称)曲子光男記念館建設等庁内検討委員会で検討する	併設施設の決定、作品保全のあり方、常設展示スペースの必要性等の検討を行った。検討終了。	山村開発センター改修検討委員会へ、庁内検討委員会での検討内容を提言していく。

施策項目　２２　文化財の保存と活用

目　　標

地域への愛着や誇りを育むきっかけとなるよう、郷土資料の整備や保存、調査・研究をし、知ってもらう環境の整備に努めます。また収集した、時代とともに姿を消した農業用機具や生活用品の整理と保存を進め、貴重な文化資源を後世に伝えていけるよう、適切な維持管理に努めます。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現　　状 (H30)	Ｒ元	Ｒ２	目標(Ｒ６)
郷土資料の有効活用	小学校の社会科見学での活用	年１回	なし	年１回	年1回(維持)
郷土資料の保護と保存	文化財跡地説明板等の設置数	港大照寺跡遺跡への説明板設置（1 か所）	2か所設置	1か所の説明板作成	年 1～2 か所ずつ整備する

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 郷土資料の有効活用

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
子どもの頃から、より身近に蘭越町の文化に触れられる学習機会の提供	収集した農業用機具や生活用品等の郷土資料の整理を行い、展示に耐えらるものをふるさと学習館へ移動した。	ふるさと学習館内の展示物説明文の記載内容の充実を図る。

(2) 郷土資料の保護と保存

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
文化財跡地や学校敷地等の説明板を設置し、郷土資料として後世に伝える取組みに努める。	説明板のサイズや形状を設置箇所にあわせ変更し作成した。形状の決定や素材の選定、設置方法の検討に時間がかかったため、設置作業は翌年度に行うこととした。（旧旭台小学校跡地）	記念碑、文化財跡地の標柱等設置を、今後も計画的に整備していく。

施策項目　２３　みんなが集う花一会図書館

目　　標

町民や地域のニーズに合った図書資料の選書、郷土の歴史や文化に関する地域資料の収集に努めるとともに、町民の知りたい情報や技術を図書資料を通して支援する、学習・情報拠点としての図書館機能の整備を取り進める。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現状（H30）	R 元	R2	目標（R6）
貸出冊数	個人貸出冊数（年間町民一人当り）	5.8 冊	7.22 冊	8.31 冊	6 冊（2 ヶ月に 1 冊）以上を目指す
来館者数	花一会図書館年間来館者数	21.8 千人	19.8 千人	16.9 千人	2 万人台の維持を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

令和２年度の取組の概要	令和２年度の取組の成果や課題	今後の方向性
■町民のニーズを捉えた図書資料の選定、収集 （毎週、新刊を含む図書の購入、陳列）	図書 購入回数 58 回、購入冊数 1,611 冊 雑誌 18 種　113 冊 新刊、人気本が早期に入手できないケースが頻出しているため、購入先を多様化した。	雑誌については、利用頻度等を勘案して適宜入れ替える。 週刊誌 1 誌を試験的に購入・配架する。 手薄な時事関連本の蔵書化を進める。
■月例での館内テーマ展示の実施	月例で中央、絵本室テーマ展示を 12 回実施。エントランスに話題本、新刊本を随時入れ替えして展示した。	エントランスの話題・新刊本展示を常設する。
■定期的な読書案内の発信	図書館だよりを奇数月 6 回発行	継続する。
■ホームページや SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した図書館情報の発信	SNS（Facebook, Twitter、Instagram）で新刊本、館内展示、図書館活動状況をほぼ毎日発信した。	ホームページを新たに開設し、情報発信の手段を多様化する。
■図書館講座（絵本講座、趣味の講座等）の開催	開催の中止、見合わせ （新コロナウィルス感染症予防対策）	新コロナウィルス感染症予防対策を講じながら開催する。
■図書館祭り等の各種催し物の開催	開催の中止、見合わせ （新コロナウィルス感染症予防対策） ※かとうまふみ原画展開催 （令和 2 年 11 月 1 日 ～令和 2 年 12 月 20 日）	新コロナウィルス感染症予防対策のため、当面見合わせる。
■図書館ボランティアの協力による定期的なおはなし会の開催	開催の中止、見合わせ （新コロナウィルス感染症予防対策）	月 1 回（第 1 金曜日）、親子 4 組に制限して、職員によるおはなし会を実施する。

施策項目　２４　外に飛び出す図書館活動

目　　標

乳幼児から高齢者まで、あらゆる機会とあらゆる場所において読書活動ができるよう、移動図書館や施設内文庫の設置などの図書館活動を積極的に取り進める。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	現状（H30）	R 元	R２	目標（R6）
施設内文庫配本冊数	施設内文庫設置箇所数、年間配本冊数（学校除く）	10 か所 3,403 冊	15 か所 5,615 冊	15 か所 6,725 冊	10　か所、3,500　冊以上を目指す
学習支援資料提供数	小中学校授業支援提供図書年間冊数（児童・生徒一人当たり）	小学校 8.8 冊 中学校 2.3 冊	小学校 9.2 冊 中学校 1.9 冊	小学校 9.3 冊 中学校 1.4 冊	小学校 10 冊以上、中学校 4　冊以上を目指す
学級文庫配本回数	小中学校の学級文庫への年間配本回数	5 回	5 回	昆布小 6 回 蘭越小 5 回 中学校 7 回	年間配本回数（5 回）の維持を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

令和２年度の取組の概要	令和２年度の取組の成果や課題	今後の方向性
■ブックスタート事業の実施	健やか健診時偶数月 6 回実施 27 組の親子に絵本 2 冊、グッズを贈呈 新コロナウィルス感染症予防対策のため対面での読書案内や相談ができなかった。	健やか健診時偶数月 6 回継続実施、布バック等のグッズを紙袋にし、絵本 3 冊を贈呈する。
■幼稚園・保育所、子育て支援センター施設内文庫の設置	ひばり幼稚園　8 回　897 冊 昆布保育所　6 回　542 冊 蘭越保育所　7 回 1,494 冊 支援センター　6 回　367 冊 昆布温泉病院保育所　4 回　133 冊 ベアーズこども園　4 回　147 冊	ちっちゃいほんだな事業を継続し、保育所、幼稚園が連携して、小さい頃から図書館に慣れ親しんでもらえるよう取り進める。
■放課後子ども教室・学童保育所への移動図書館の実施、施設内文庫の設置	子ども教室　16 回　818 冊 学童保育所　11 回　296 冊 （文庫設置　12 回　366 冊）	移動図書館で読み聞かせ、ブックトークなどを行い、読書に親しむ機会を積極的に設けていく。
■学校図書館巡回派遣事業の実施、学校図書館図書センター事業の充実	巡回派遣　延べ 159 日（3 校）	レイアウトや展示などの工夫を凝らして、魅力的で利用しやすい学校図書館づくりを継続する。
■小学校～「みんなの本だな事業」による学級文庫の充実	みんなの本だな 昆布小 1 回、蘭越小 2 回実施	継続して、みんなの本だな事業を年 2 回実施

	学級文庫配本 昆布小6回　　1,145冊 蘭越小5回　　2,511冊	する。
■中学校～「生徒が作る学級文庫」の充実	移動図書館による学級文庫設置 1回　各学年2日間実施 学級文庫配本　7回　1,415冊 小学生から中学生になると不読率が大きく上昇する傾向がみられる。	本との関わりを持たせ、読書をするきっかけを作り続けていく。
■保健福祉センター・各役場出張所施設内文庫の設置	保健福祉センター　12回　901冊 目名出張所　3回　187冊 蘭小通級指導教室　4回　53冊 昆布小職員室　6回　75冊 蘭越小職員室　9回　214冊 蘭越中職員室　5回　76冊	あらゆる場所において、自主的な読書活動を行うことができるよう施設内文庫の増設に取り組む。
■お手軽文庫（訪問サービス専門員の安否訪問時に在宅高齢者へ配本）の実施	延べ128人、1,018冊配本	健康推進課と連携しながら読書サービスの実施を継続する。
■高齢者生活福祉センター、老人施設等への移動図書館の実施、施設内文庫の設置	高齢者生活福祉センターこんぶ 個人貸出　18回　259冊 文庫設置　23回　635冊 高齢者生活福祉センターめな 文庫設置　11回　766冊	大活字本の蔵書を増やすなど可能な限りリクエストに応えた配本としていく。

施策項目２５　生涯にわたるスポーツ活動の推進

目　　標

各種スポーツ施設の充実に伴い、健康・体力づくりに対する関心が高まってきており、子どもからお年寄りまで、生涯スポーツ活動に親しむ意識の啓発をするとともに、スポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブの連携を強化し、町民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進め、生涯スポーツの充実に努める。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	Ｒ元	Ｒ２	目標（Ｒ６）
ニュースポーツの推進	新たな種目の取組と普及	ニュースポーツ大会の推進	スポーツ推進委員が主管するニュースポーツ大会を継続開催した。	ニュースポーツ大会は新型コロナウイルス感染症対策により中止	新種目のニュースポーツの紹介・普及を目指す。
スポーツライフの推進	本町の自然や施設等を活用したスポーツ事業の普及と推進	各種スポーツ行事の開催（体力測定、歩こう会、登山等）	活動種目ごとに創意工夫しながら活動の充実を図り、交流に努めた。	活動種目ごとに創意工夫しながら活動の充実を図り、交流に努めた。	現種目の継続とより一層の充実と推進を目指す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) ニュースポーツの推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
ニュースポーツの推進	スポーツ推進委員が主催する大会が中止となったが、各種スポーツレク活動等での普及のための指導や新種目の紹介の準備に努めた。	既存の活動の充実を図り、各団体等が行うスポーツレク活動へ出向き、幅広く町民への普及に努める。

(2) スポーツライフの推進

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
定期活動の充実と推進	会員の高齢化が進み、脱会する方も増加傾向にあります。 しかしながら気軽に参加できる「ウォーキング活動」などを通して新規会員の勧誘に努めている。	クラブの活動の趣旨について、町民の理解をいただきながら、活動内容を伝え新規会員の勧誘に努め、さらには現在の活動の充実を図る。

施策項目２６　児童生徒のスポーツ活動の充実

目　　標

スポーツ協会等の協力を得ながらスポーツ少年団活動の充実を図り、指導者の育成や児童生徒を対象とした各種スポーツ大会等の開催・支援に努め、より多くの児童生徒がスポーツとふれあう機会を増やすなど、底辺の拡大を図る。

さらには、スポーツを通じて交流を深める機会を提供するとともに、気軽に楽しく参加できる教室を開催する。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	R元	R２	目標（R６）
スポーツ少年団活動の育成・強化	誰もがスポーツ・レク活動に親しめる環境づくりを進め、より多くの児童生徒が楽しく参加できる活動内容	スポーツ少年団の交流事業等を推進	スポーツ少年団の交流事業の開催に努めた。	新型コロナウイルス感染症感染対策を行いながら交流事業の開催に努めた。	指導者の養成及びスポーツ少年団員の交流事業の充実をめざす。
各種スポーツ教室等の開催	スポーツ教室等の開催状況	各協会・連盟により各種のスポーツ教室を開催	各競技団体が主催するスポーツ教室への支援と協力に努めた。	新型コロナウイルス感染症の対策により中止となった教室もあったが、冬期間は対策を行いながら開催。	スポーツ協会と連携し指導者の養成及び各種スポーツ教室の充実をめざす。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) スポーツ少年団活動の育成・強化

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
スポーツ少年団の交流事業等の充実と育成	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら交流事業を進めたが、「体力測定会」や「スケート交流」は開催できなかった。 ・団員や指導者の減少が進んでいる競技種目が目立ち、少年団の活動や運営に苦慮している現状である。	スポーツ少年団の組織の確立を図るため、スポーツ協会の競技団体と連携に努める。

(2) 各種スポーツ教室等の開催

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
各競技団体が主催するスポーツ教室の開催	・スキー教室のみ開催できた。 ・継続した教室の開催や他の競技団体と連携した新たなスポーツ教室の開催が課題。	スポーツ協会やスポーツ少年団などが連携して主催するスポーツ教室の継続開催に努める。

施策項目２７　スポーツ環境の充実

目　　標

より多くの町民が快適にスポーツに親しみ、既存施設の効果的かつ効率的に利用できるよう努めるとともに、老朽化により改修等が必要な施設については、緊急性の高いものから計画的に改修や維持補修を進める。

目標指標

指　標	指　標　の　概　要	基準年（H30）	Ｒ元	Ｒ２	目標（Ｒ６）
施設の有効利用	各種施設の有効利用状況	各種施設の有効利用や効率化を図るため、関係競技団体と調整。	積極的な使用促進に努めた。	積極的な使用促進に努めた。	各種施設の有効利用をめざす。
施設の計画的改修整備	老朽化する各種施設の整備状況	老朽化する各種施設改修等の整備計画を検討	町民プール給湯ボイラー取替修理の実施。	町民プール拡張タンク取替修理の実施。	整備計画を作成し、老朽化施設の改修をめざす。

点検・評価の課題と今後の方向

（1）施設の有効利用

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
各種スポーツ施設の有効利用	・総合体育館の有効利用を図るため、夜間利用団体打合せ会議を年２回開催して、利用調整に努めた。 ・利用のないときには、他の競技団体の利用について努めた。 ・トレーニング室は、新型コロナウイルス感染症対策のため閉鎖。	施設の有効利用を図り、利用者が快適に使用できるよう努める。

（2）施設の計画的改修整備

① 令和２年度の取組の概要	② 令和２年度の取組の成果や課題	③　今後の方向性
スポーツ施設の計画的な改修整備	・体育施設を安全に使用していただくため、計画的に維持補修に努めるが、限られた財源のため、緊急性の高いものから改修、修理に努める。	利用者が安心して、安全に利用できるよう施設整備に努める。

第３章　外部評価

第３章のポイント
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項に、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること」が定められていることから、評価の客観性を高めるため、外部評価委員による点検評価を行いました。

1　外部評価委員による評価・意見

（1）学識経験者

役　　職	氏　　名	所　　属　　等
委員長	住吉　邦幸	蘭越町民生委員児童委員協議会長
副委員長	檜　　伊佐夫	元蘭越中学校校長
委　　員	福島　雅史	元蘭越町ＰＴＡ連合会長
委　　員	藤田　博史	蘭越高等学校長

（2）聴取日等

日時　令和３年８月３１日（火）　午前９時００分～午前１１時１５分

場所　蘭越町役場２階会議室

（3）主な意見

①　教育委員会の活動状況について

教育委員会会議は１２回開催され、条例、規則や要綱等の制定と改正、教育予算等の審議など教育を取り巻く環境の変化に迅速、かつ適切に対応されている。

昨年は、コロナウイルス感染症対策のため、学校行事や研修の参加を自粛し、十分な活動を行うことができなかったとの報告があり、感染が収束しない状況にあっては止むを得ない措置であったと理解するところである。

今後は、コロナウイルス感染症の収束後を見据え、行事や研修への積極的な参加を計画し、学校等の情報収集と目まぐるしく変化する教育行政にしっかり対応するなど、教育行政の推進に努められたい。

②　教育推進計画に基づく点検・評価について

令和元年度に策定した、令和２年度から令和６年度を計画期間とする新たな「蘭越町教育推進計画」に基づき、学校教育に係る分野１５施策項目、社会教育に係る分野１２施策項目について、具体的な取組が行われており、その成果や課題等、適切な自己評価が実施されている。

【学校教育】

「情報教育の充実」では、国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、一人１台のタブレット端末が整備されているが、今後、授業におけるデジタル教科書などの導入、感染症や災害時における臨時休業の際のリモート授業の実施など、教員の情報端末活用のスキル向上が課題となることから、研修とその実践に努められたい。また、今回、一斉に導入したタブレットについては、いずれ耐用年数が過ぎ、更新の時期がくることから、計画的な導入と財源の確保が望まれる。

また、導入から年数が経過している「校務支援システム」について、当初は使い勝手が悪く、その効果が疑問視されていたが、改善が進んでいると思われる。現在の活用状況の検証が必要であり、実態の把握を行い、教職員における活用のバラツキ解消と一層の活用に努められたい。

「道徳教育の充実」では、現在、東京でパラリンピックが行われ、大会を通じて差別の

ない共生社会の実現をスローガンに、障がい者による熱戦が繰り広げられている。競技に真摯に向き合い、障害を克服しようとする姿は、見るものに感動を与えており、いじめや差別の問題に繋がるものとして、児童生徒にこれらの様子を何らかの機会に伝え、考える時間を設けるよう望むものである。

「食育の推進」では、食材の町内調達率が４割との報告があり、町内において、欲しい時に、欲しい量を確保することが困難であることは承知しているが、蘭越産野菜など地元で採れるものを優先的に利用し、また、町内経済を維持する上で、町内業者からの購入に可能な限り取組みを進められたい。

【社会教育】

「芸術文化活動の推進」では、山村開発センター改修実施設計内部検討委員会において、改修に合わせた、収蔵庫と展示スペースの検討が進められているとのことだが、（仮称）曲子光男記念館検討委員会の答申を尊重した整備を着実に進められたい。

「文化財の保存と活用」では、時代と共に姿を消した生活用品や農業用器具など貴重な文化財資源を後世に伝えることは、地域への愛着や誇りを児童に育む良い機会になることから、ふるさと学習館などを児童の社会科見学等などで活用しながら、町の歴史や文化に触れる機会の充実を図られたい。また、郷土資料の散逸を防ぐための、収集と整理も望まれる。

「児童生徒のスポーツ活動の充実」、「スポーツ環境の充実」では、現在、新型コロナウイルス感染症防止のため、各種スポーツ大会、イベントの中止が続いているが、感染予防対策を講じ、工夫しながら、実施についての取組を期待する。また、スポーツ施設の利用が一時的に制限される事態についても、感染予防をしっかり行い、有効利用されるよう検討されたい。

（４）　総合評価

教育委員の活動状況の点検及び教育推進計画に基づく２７項目の施策についての評価を行った。

教育委員会議は定期に開催され、教育の諸課題に迅速、かつ適切に対応されていると感じられた。また、新たな教育推進計画に基づく各施策項目については、進捗状況及び成果や課題が具体的に整理され、課題に対する今後の取組みも示されており適切な執行管理がなされているとの感想をもった。

今年度から導入をされている学校運営協議会が設置されたとの報告を受けたが、学校と保護者や地域の方が知恵を出し合い学校運営に意見を反映することは、「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みであり、コロナ対策や関連事業に忙殺される中での導入に敬意を表したい。

また、蘭越高校の道立高校としての存続が厳しい中、入学者確保に奔走されているが、高校が地域から消える影響は計り知れないことから、高校、関係機関との連携を密にしなら、一層の取組を切に希望するものである。

今後も、教育現場をはじめ地域の意見を積極的に取り入れ、総合教育会議で町長部局と課題や情報の共有を図り、より一層具体的で効果的な教育活動の取組がなされるよう期待する。

資　　料

令和2年4月1日

教育長	首藤 一幸
職務代理	鍋田 圀雄
委員	西澤 雅明
委員	及川かをり
委員	西元 裕子

- 教育次長 田縁 幸哉
- 学務課
  - 主幹 今野 満
    - 総務係 ― 係長 今野 満（兼）・亀井 優佳
    - 学校教育係 ― 係長 福田 美穂・亀井 優佳（兼）
    - 学校教育アドバイザー ― 巻 礼子
    - 教育相談支援員 ― 竹内 照雄
    - 外国語活動支援員 ― 谷内 日和
- 学校
  - 教育支援員
    - （蘭小）徳光 茂 松本佳世子 尾関 千明（昆小）巻 敏弘
    - （蘭中）氏家 裕子
  - 事務補
    - （蘭小）若狭美由貴（蘭中）赤部 克恵
    - （蘭小）宮谷内 仁（昆小）日比野真紀
  - 公務補
    - （蘭中）小野寺隆二郎 織笠 和典
    - （蘭中）河田 茂 佐々木義光 木村 政義 荒井 和彦
  - 部活動指導員
- 生涯学習課
  - 主幹 高橋ひろみ
    - 生涯学習係 ― 係長 工藤 伸也・小山内一真
      - 昆布小放課後子ども教室 コーディネーター 上野 孝治
      - 安全管理員 岩谷真奈美・姉﨑貴誉子・佐藤 明美
- スポーツ課
  - 主幹 佐藤 耕治
    - スポーツ振興係 ― 係長 上坊寺一夫
    - スポーツ施設係 ― 係長 上坊寺一夫（兼）
- 総合体育館
  - 館長（兼）佐藤 耕治
    - 業務係 ― 係長 上坊寺一夫（兼）・住吉 貴博・鈴木 咲菜
- 町民センター
  - センター長（兼）高橋ひろみ
    - 業務係 ― 係長 高橋ひろみ（兼）・滝口 和則・酒谷 真菜
- 花一会
  - 館長 小林 勝司（再任用）
    - 業務係 ― 係長 小林 勝司（兼）・金子 千明・滝口 和則（兼）
      - 松原 展与・若林由美子・吉田みなみ
      - 西元 裕子 今野 早苗
- 学校給食センター
  - センター長 屋敷 広美（再任用）
    - 業務係 ― 係長 屋敷 広美（兼）・小林 早苗
    - 調理員 村瀬美由紀・宮坂 澄子・細川美智子・山石 栄子
      - 杉村めぐみ・石川まゆみ・福岡 智秋

2　学校の児童生徒・教職員数

児童生徒数　　令和２年５月１日現在

学 校 名	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
昆布小学校	８	６	８	６	５	４	３７
蘭越小学校	２８	２５	１７	２９	２８	２１	１４８
小学校計	３６	３１	２５	３５	３３	２５	１８５
蘭越中学校	３３	３１	３７				１０１
計							２８６

教職員数

（道費負担職員）

学 校 名	教　員	養護教諭	事務職員	栄養教諭	合計
昆布小学校	7	1	1		9
蘭越小学校	１７	1	1	1	２０
蘭越中学校	１４	1	1		１６
計	３８	3	3	1	４５

（町費負担職員）

学 校 名	支援員	事務補	公務補	合計
昆布小学校	1		1	2
蘭越小学校	3	1	1	5
蘭越中学校	1	1	2	4
計	5	2	4	１１

3　施設利用者数

(1) 町民センター利用者

生涯楽習サークル		各種教室・会議等		商工会・コミュニティ団体		行政関係・その他		合　計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
800	4,100	65	913	13	885	250	3,411	1,128	9,339

(2) 町民プール利用者

幼　児	小学生	中学生	高校・一般	団　体	町外者	計
392	918	59	738	1,456	61	3,624

(3) 体育施設利用者

総合体育館		運　動　公　園				山　村　広　場		
一　般	団　体	野球場	こぶしパーク	ゲートボール	XCスキー他公園施設	多目的広　場	サーモンパーク	テニスコート
7,969	6,910	3,419	569	345	350	0	0	353
14,879		4,683				353		

(4) 目名サッカー場利用者

	幼児	少年団	中学校	その他	観客	計
利用日数	0	26	5	3		34
利用者数	0	1，349	175	24		1，548

(5) トレーニング室利用者（3月のみ開放）

	男子	女子	計
町内利用者	30	39	69
町外利用者	0	0	0

(6) 花一会図書館利用者

来館者数	貸出冊数	新規登録者
16，918	54,847	166

令和２年度　**蘭越町立昆布小学校　学校関係者評価**

今年度の重点目標
『自分の考えを持ち、説明できる子どもの育成』→『コロナウイルスに対応した新しい学校生活の確立
～「やる気・やさしさ・ときめき　いっぱい」～

※Ａ　適当である　　Ｂ　おおむね適当である　　Ｃ　適当とは思えない
※達成状況は１～４の４段階で調査後、平均を数値化
※評価の表示　後期～３．１　前期～（３．０）

（１）知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力、ツール活用能力の育成　（数値目標３．０）
後期　３．１ 前期（３．１）

NO	評　価　の　観　点	教職員評価平均	保護者評価平均	改善の方向性	学校関係者評価	
					評価の適切さ	改善の方策の適切さ
1	**主体的な学びによる確かな学力の向上を図っている。**（主体的で対話的な深い学びの視点による指導方法の改善　「個人思考」と「集団思考」の場面の定着　ゴールを明確にした授業づくり　評価の改善　自分たちで考え学習を進めていく力）	３．３ （３．１）	３．５ （３．５）	NO１ ・全校で統一された学びの過程を確認し、一単位時間の授業を構築していく。 ・指導方法、ゴールの設定の仕方、評価の仕方など、研修内容を工夫する。 ・担任同士が気軽に授業参観できるようにする。 ・個人志向と集団思考を分けて深める。	Ａ	Ｂ
2	**家庭学習の習慣化と学習機会や時間の確保を図っている。**（学習方法の提示　自主ノートの点検や交流　放課後・長期休業中の学習活動の実施）	３．４ （３．３）	３．０ （３．３）	NO３ ・地域を使ってどのような学習をさせたいのか、ねらいを全体で確認する。 ・地域人材活用の流れを年度当初に確認する。 ・人材バンク等の活用（教育委員会との連携）		
3	**総合的な学習の年間指導計画を改善し、指導の充実を図っている。**（地域人材の積極的な活用　関係機関との連携）	３．０ （３．０）	３．２ （３．０）	NO４ ・プログラミング、リモート、タブレットを使っての研修の実施 ・機器がなくてもプログラミング的思考を使う場の充実 ・道徳の時間などを活用した情報モラルの向上 ・効果的な予算の執行		
4	**情報活用能力の向上と情報モラルの徹底を図る。**（プログラミング教育を取り入れた教科指導の実施　ICT機器の活用　情報モラルの向上）	２．８ （２．９）				

（2）学びに向かう力と協調性、健やかな体の育成　（数値目標３．０）　　３．４（３．３）

NO	評　価　の　観　点	教職員評価平均	保護者評価平均	改善の方向性	学校関係者評価	
					評価の適切さ	改善の方策の適切さ
5	**道徳的価値と向き合う指導の充実を図っている。**（考え論議する道徳科の授業　全教育活動を通じた道徳性の育成　児童の心の成長を促す活動の充実）	３．３ （３．３）	３．０ （３．０）	NO５～８ ・本年度の取組を基本的に継続する ・教職員間の連携を密にし、児童の様子について積極的に情報交流をい行う ・各行事や活動について、常に内容の見直しを行う。	A	B
6	**「共感する」「認め合う」「つながり合う」の意識を高める指導の充実を図っている。**（頑張りを認め合う「温かい学校づくり」の推進　いじめを生まない土壌づくり　基本的生活習慣の徹底　学級目標の再設定及び確認　児童との信頼関係の確立再確認　相談体制の確立による児童のストレスの緩和　活動への意欲換気）	３．４ （３．４）	３．５ （３．２）			
7	**一人一人の成長や変容が実感できる学校行事の充実・改善を図っている。**	３．４ （３．１）				
8	**学習規律の育成についての指導内容の明確化と組織的・継続的な取組を図っている。**	３．４ （３．３）	３．４ （３．３）			

（3）教師力の向上 （数値目標3．0）

3．3（3．2）

NO	評　価　の　観　点	教職員評価平均	保護者評価平均	改善の方向性	学校関係者評価	
					評価の適切さ	改善の方策の適切さ
9	**専門職としての資質の向上を目指す校内研修の充実を図っている。**（授業研究等研修活動の推進　OJTによる資質・能力の向上）	3．1 （3．1）		NO10 ・前年度の教材等を残しておき、次年度も使用することができるようにする ・学校行事の内容の見直し ・職員会議のペーパーレス化（職員会議の資料の印刷を減らし、パソコン上での資料の確認） ・CSの活用（地域コーディネーターなどの人員の確保） ・仕事ややるべきことに軽重をつける	B	B
10	**教職員の協働体制の充実を図り、業務の効率的な推進を図っている。**（相談体制の構築　働き方改革の推進　組織的な協働体制）	2．9 （3．0）				
11	**教育公務員としての服務規律の遵守を図っている。**	3．5 （3．6）				
12	**危機管理と危機への対応力の充実を図っている。**（防災訓練、不審者対策等の充実　安全点検　危機管理マニュアルの見直しと共通理解）	3．3 （3．1）				
13	**特別に支援を必要とする児童への理解を深め、個別の指導・支援計画に基づき組織的な対応を図っている。**（支援方策の検討と具体化　研修活動の充実　ユニバーサルデザインの視点からの教室環境の整備）	3．6 （3．4）				

（4）地域とともにある学校づくり（コミュニティスクール導入に向けた取組）（数値目標３．０）

３．０（３．１）

NO	評価の観点	教職員評価平均	保護者評価平均	改善の方向性	学校関係者評価	
					評価の適切さ	改善の方策の適切さ
14	**教育目標、重点目標の家庭・地域との共通理解と具現化を図っている。**（学校グランドデザインの家庭・地域への啓発 ）	３．１ （３．１）		NO１６ ・義務教育９年間を見通した、グランドデザインの作成。 ・目標や活動内湯を考えながら、保育所との交流の場を作る。（参観日） ・入学時までにどんな力を付けるか明確にする。 ・教育課程交流会、町教研交流会の活性化。 NO１８ ・教務からの１週間の予定や月別学校運営計画の活用による短期のＰＤＣＡサイクルの確立	B	B
15	**地域の人的・物的資源を活用した授業実践の推進を図っている。**	３．１ （３．１）				
16	**保育所、町内小学校・中学校との交流活動、連携の充実を図っている。**	２．５ （２．６）				
17	**各種お便りや懇談会、行事等を通して、分かりやすくタイムリーな情報提供を図っている。**	３．４ （３．３）	３．１ （３．１）			
18	**学校評価（含関係者評価）を充実させ、教育課程への反映を図っている。**	３．１ （３．３）				

令和2年度　蘭越町立蘭越小学校　学校評価

学校教育目標	経営の重点	評価方法	評価基準
◇ つくり出す子（かしこく） ◇ 助け合う子（やさしく） ◇ たくましい子（たくましく）	①学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組 ②自尊感情・自己有用感を醸成する教育活動の充実 ③ふるさとの自然・社会・人とのつながりを重視した教育活動	○保護者アンケート（設問数12）と、教職員アンケート（設問数12）をリンクさせて実施。 ※ 8月に第1回目の評価を行い、その集計結果を基に改善を図り、12月に再度改善を図るための最終的な評価を行う。 ○保護者アンケートと教職員アンケートの集計結果・考察をもとにした、学校関係者評価を行う。	5～よい 4～おおむねよい 2～もうすこし 1～要努力 （基準点・・・・・3．0）

学校関係者評価委員会　令和2年 2月26日		
評価委員		学 校
住吉 郁幸	福原 明美	校長 五十嵐 幸
若林 由美子	宮谷内 倫哉	教頭 中川 融
尾路 肇		

蘭越町立蘭越小学校

校長　五十嵐　幸　印

重点目標		評価計画 具体的な実践項目	評価計画 評 価 項 目	保護者アンケート	自己評価（1回目～8月　2回目～12月） 教1職員	保1保護者	分析・考察	改善策	教2職員	保2保護者	学校関係者評価委員会
学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組	1	<学習状況> ○「学びの約束」（学習規律）を作成し、月別重点項目を設け、系統性のある指導を行う。 ○学習の手引きの活用、積極的な予習の奨励等児童が進んで学習に臨む工夫を行う。 ○すべての教科において、表現活動を重視した授業の工夫を行う。	蘭越小学校の学習規律を設定し、月別重点項目の取組を進めてきたことで、児童の学習に向かう準備や姿勢、授業中の約束事などがしっかりと身についている。	子どもたちの学習に向かう準備や姿勢、授業中の約束事などがしっかりと身についていると思いますか。	3.5	3.9	・学習規律の取組については、月別重点項目を設けたことで、学級担任、児童も集中して取り組むことができ、定着につながっている。	・学級や指導する教師によって違いがあり、子どもたちが戸惑うことのないよう、意識を高めながら取組を進めていく。	3.5	4.1	○評価は妥当である。（了解が得られた）
	2	<学び方> ○しりべし授業づくりの6つの視点を取り入れ、「見通し（課題）」「自力解決」「小集団・全体での交流」「まとめ・定着を図る場面」「学習の振り返り」のバランスがとれた授業づくりを算数科以外でも行っていく。 ○児童が主体的に楽しく学習活動に参加できる授業の工夫。 ○すべての教科において「書く活動」を重視した取組や授業の工夫を行う。	全ての教科において授業の中に学習の見通しを持たせる「課題」やその時間に学習したことの確かめ「まとめ」、そして「振り返り」の場面及び「書く活動」を設けていくことで児童に「学び方」の基礎が定着してきている。		4.2		・これからの子どもたちに求められている学習の姿を目指し、どの学級でも意識して取り組んでいる。	・学校として学力向上の各取組のねらいをはっきりさせ、効果的に生かすことができるよう検討していく。	4.4		
	3	<家庭生活> ○家庭学習の手引きを全体懇談で説明、各学級で配布、家庭学習の習慣化を図る。 ○学力学習状況調査のデータや道教委のデータと本校のデータの提示等で家庭への啓蒙を図る。	家庭学習の手引き（あり方）によって家庭学習（目標数値：学年×10分、100%の実施）が定着してきている。	お子様は、家庭学習の習慣が身についていると思いますか。	4.1	3.4	・家庭学習の習慣化については、各学級での取組の成果が表れ、少しずつ定着してきている。	・子どもたちへのさらなる意識づけを図るとともに、家庭学習の内容・時間についても、他の学級や家庭との連係を深めていく。	4.0	3.7	
	4	<定着> ○TT指導と習熟度別指導を効果的に取り入れた授業、時数配当。 ○単元末に「単元テスト」「到達確認問題」を行い、未定着児童を把握し放課後等で補習を行う。 ○学校体制としての補充学習の実施（長期休業中） ○学習困難児への個別指導の実施	担任外教諭や学習支援員によるＴＴ指導や習熟度別指導及び宿題、家庭学習など日常的な補充学習は、学習内容の基礎・基本の定着につながっている。	蘭越小学校では、複数の先生が教室に入り、学習に取り組む子どもたちを支援しておりますが、子どもたちにとって分かりやすい授業になっていると思いますか。	4.5	4.4	・担任外教諭や学習支援員によるサポートが、子どもたちの基礎・基本の定着につながってきている。	・担任外教諭や学習支援員の効果的な活用（過剰な支援や子どもの自立を妨げないようにする）について、あらためて全校で確認を行っていく。	4.7	4.5	
自己有用感を高める教育活動	5	○一人一人の居場所がある学級経営（自己肯定感・自己有用感をもたせる学級づくり）	今年度の蘭越小学校では、児童一人一人が学級への所属感（自己有用化案・自己肯定感）や連帯感を持ち、活動が楽しいと感じる学級づくりがなされている。（児童によるいじめ実態調査の取組）	蘭越小学校では、学習や生活を通して学級への所属感や仲間意識が育つよう働きかけておりますが、十分だと思いますか。	4.5	4.1	・子どもたち一人一人を、どのような場面で生かしてくのかを考えながら工夫した取組が進められ、自己有用感・自己肯定感が高まった、	・今後もさまざまな取組を進めていきながら、学級あるいは学校全体の集団としての力を高めていく。	4.5	4.1	○評価は妥当である。（了解が得られた）
	6		子どもたちは他のこどもとのかかわりの中で、人のよさに気づいたり自分の関わりのよさに気づくことができている。	子どもたちは他のこどもとのかかわりの中で、人のよさに気づいたり自分の関わりのよさに気づくことができていると思いますか。	3.8	4	・人のよさに気づくこと、さらには自分のよさに気づかせることが十分ではなかった。	・明確なねらいをもって、どのような場面で、どういう人と、どのようにかかわりをもたせるのかを考えていく。	3.9	4.0	
人との関わりを重視した地域に開かれた教育活動	7	○総合的な学習の時間～地域と連携した学習 ・子どもたちの問題意識・探求心・課題発見力を高める 4年生＝尻別川博士に・・・開発局との協力、蘭越高校との連携 5年生「プロジェクト米」地域の米農家に協力依頼、	今年度の蘭越小学校では、保護者や地域と連携し、体験的な学習や共感的な学習を行うように努めている。（校外学習や、外部講師を招いての授業など）	蘭越小学校では、積極的に校外学習などの体験的な活動や、地域の方々を講師に招いての授業を行っておりますが、十分だと思いますか。	3.7	4.3	・蘭越の地域人材・物的資源を有効に活用しながら、教育活動を進めることができた。	・新たな取組を進めていきながら、地域を十分に活用した教育活動を進めていく。	3.6	4	○評価は妥当である。（了解が得られた）
	8	○花一会との連携（ブックトーク・出前授業・講演会）	今年度の蘭越小学校では、道徳科を中心として、生命を尊重する心や他を思いやる心が育っている。（道徳の授業の充実）	蘭越小学校の子どもたちは、動植物などの命を大切にし、友達を思いやる心を育てようと取り組んでおりますが、十分だと思いますか。	3.8	.4.2	・「道徳的価値を自分の事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする」道徳教育への転換が必要である。	・授業改善や教材の工夫、評価の方法などに取り組みながら、学校の教育活動全体の中で、道徳性を養っていく。	4	4	
	9	○昆布小学校・蘭越中学校との連携 ・9年間で蘭越の子どもを育てる観点での連携強化 ・昆布小学校との合同学習	今年度の蘭越小学校では、基本的な生活習慣、集団生活でのルールやマナーの指導がされ、定着してきている。（道徳や学級活動の時間。日常の学級経営・生徒指導）	蘭越小学校の子どもたちは、あいさつや返事などの基本的な関わりや、集団行動でのルールやマナーがよくできていると思いますか。	3.7	4	・指導をされたときにはできていても、それがすぐに繰り返されるなど、定着しているところまではいっていない。	・具体的な場面に即して考えさせたり、周りの状況を見ながら自分がとるべき行動を判断させていく。	3.5	3.8	
その他（学校教育全般）	10	○「蘭越小学校　いじめ防止基本方針」を作成し、教職員・保護者に提示し、いじめを許さない空気を醸成する。	今年度の蘭越小学校は活気があり、明るく生き生きした雰囲気である。（挨拶を通して自他を大切にするより良い人間関係の構築）	子どもは学校が好きで、楽しく登下校することができていると思いますか。	4	4.4	・明るく素直な子どもが多いが、挨拶に関して言うと、自発的で明るい挨拶ができている子は少ない。	・指導を続けていくとともに、教師自身も明るい心のこもった挨拶の手本を見せていく。	3.9	4.2	○評価は妥当である。（了解が得られた）
	11	○年2回の「いじめ調査アンケート」と教育相談の実施	今年度の蘭越小学校では、教職員が児童に対して温かく共感的な態度で接する事ができている。		.4.7		・学級担任だけでなく、担任外の先生や支援員も含めて、日常的に子どもたちに対して温かく共感的な態度で接していた。	・これからも、ふれあいを続けていくとともに、子どもたちへの目配り・気配り・心配りをしっかりと行っていく。	4.7		
	12	○全校児童を対象に新体力テストの実施と、結果の経年変化分析。	今年度の蘭越小学校では、全校で体力テストを行い、その結果をもとにして体力作りの取組を改善し、継続的に取り組んでいる。（新体力テスト・なわとび活動・体育の授業での体力づくり運動）	蘭越小学校は、体力向上を目指しておりますが、十分だと思いますか。（なわとび活動・体育の授業での体づくり運動等）	4.4	4.0	・体育の授業内容の工夫や朝の会・帰りの会の取組、児童会体育委員会によるなわとび活動など、さまざまな取組を行うことができた。	・新体力テストの結果を踏まえ、苦手な部分をさらに伸ばしていくための全校的な取組を進めていく。	4.9	4.1	
	13	○年2回の「保護者アンケート」と、参観日後の全体懇談の実施。		蘭越小学校は、保護者の意見等を参考に学校運営を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか。		4.3	・保護者の意見等を参考にしながら、学校運営を進めることができた。	・行事アンケートや学校評価保護者アンケート等の意見を真摯に受け止め、これからの学校改善に生かしていく。		4.1	
	14			蘭越小学校は、学校だより等により、日常の学校運営の状況がわかりやすく保護者や地域に提供されていると思いますか。		4.4	・子どものようすや学校・学級の取組状況がわかるような、学校だより・学級通信を発行して情報を発信することができた。	・今後も、学校・学級での取組の様子を、保護者や地域の方にわかりやすく発信していく。		4.3	

重点目標		具体的な実践項目	今年度の課題と次年度に向けての改善策	評価委員からの意見
学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組	1	<学習状況> ○「学びの約束」(学習規律)を作成し、月別重点項目を設け、系統性のある指導を行う。 ○学習の手引きの活用、積極的な予習の奨励等児童が進んで学習に臨む工夫を行う。 ○すべての教科において、表現活動を重視した授業の工夫を行う。	◎学習規律について ・全校的に定着させていくことはもちろんであるが、学習規律の項目について各学年の実態に応じたものとなるよう検討・改善していく。 ◎個に応じた指導について ・次年度の学校体制の中で、子どもたちの実態に応じて、新たな配置を検討していく。 ◎家庭学習の定着に向けて ・次年度も普段の放課後学習や家庭学習(宿題)も含めて担任だけでなく、学校全体の取組となるようにしていく。 ・学校として毎日の家庭学習を出していく取組についての計画を立て、学力向上に対する保護者への意識付けを図っていく。	・基本の繰り返しが大切である。
	2	<学び方> ○しりべし授業づくりの6つの視点を取り入れ、「見通し(課題)」「自力解決」「小集団・全体での交流」「まとめ・定着を図る場面」「学習の振り返り」のバランスがとれた授業づくりを全ての教科で行っていく。 ○児童が主体的に楽しく学習活動に参加できる授業の工夫。 ○すべての教科において「書く活動」を重視した取組や授業の工夫を行う。		
	3	<家庭生活> ○家庭学習の手引きを全体懇談で説明、各学級で配布、家庭学習の習慣化を図る。 ○学力学習状況調査のデータや道教委のデータと本校のデータの提示等で家庭への啓蒙を図る。		
	4	<定着> ○TT指導と習熟度別指導を効果的に取り入れた授業、時数配当。 ○単元末に「単元テスト」「到達確認問題」を行い、未定着児童を把握し放課後等で補習を行う。 ○学校体制としての補充学習の実施(長期休業中) ○学習困難児への個別指導の実施		
自己有用感を高める教育活動	5	○一人一人の居場所がある学級経営(自己肯定感・自己有用感をもたせる学級づくり)	◎道徳教育について ・保護者や教員同士で道徳科の授業を公開しながら、「考え議論する道徳」の実現に向けた授業改善を進めていく。また、道徳科の授業を中心として、他教科や学校行事等の中でも、命の大切さや他を思いやる心を育て、実践力を伸ばしていく。	
	6			
人との関わりを重視した地域に開かれた教育活動	7	○総合的な学習の時間～地域と連携した学習 ・子どもたちの問題意識・探求心・課題発見力を高める 4年生＝尻別川博士に・・・開発局との協力、蘭越高校との連携 5年生「プロジェクト米」地域の米農家に協力依頼、	◎体験学習について ・コロナの影響で開発局と計画していた4年生の尻別川調査ができなかった。 ・蘭越小学校の体験学習の計画を年度当初に保護者に伝えるとともに、より活動内容の充実を図っていく。 ◎地域の人材活用 ・今後も生活科、社会科、理科、総合的な学習の時間の計画に沿って、地域の施設や人材の有効な活用を整理しながら、町教委(生涯学習)と連携して行っていく。	・校外学習は大変良い。 ・講師は、たとえば伝統文化継承者、農業の方々やいろいろな方の話を聞けると良い。 ・登下校の挨拶はよくできている。
	8	○花一会との連携(ブックトーク・出前授業・講演会)		
	9	○昆布小学校・蘭越中学校との連携 ・9年間で蘭越の子どもを育てる観点での連携強化 ・昆布小学校との合同学習		
その他(学校教育全般)	10	○「蘭越小学校 いじめ防止基本方針」を作成し、教職員・保護者に提示し、いじめを許さない空気を醸成する。	◎挨拶について ・どういう挨拶がいい挨拶なのかを具体的に児童に指導し、実践し、褒めながら挨拶の習慣化に努めていきたい。また、保護者にも人と人とのつな がりを大切にするために挨拶は大切であることを伝えて協力を求めていく。	・他人に対するやさしさ、思いやりを持てる心ができるようになればいじめや無視等がなくなると思う。
	11	○年2回の「いじめ調査アンケート」と教育相談の実施		
	12	○全校児童を対象に新体力テストの実施と、結果の経年変化分析。	◎体力向上について ・それぞれの学年の課題やそれを克服するための取組、学校全体での体力づくりの取組を、学級通信や学校便り等で保護者にしっかり伝えていく。また、学校だけでなく徒歩で登下校など家庭でできる体力づくりの方法等を紹介し、理解と協力を得ていく。また、次年度新たに配置される「体育専科教員」を効果的に活用していく。	・体力向上は今だけでなく、これからの人生の中でも必要なこと。 ・いろいろと工夫して楽しく体力向上ができる方法を、また、苦手な運動をなくすことが必要。
	13	○年2回の「保護者アンケート」と、参観日後の全体懇談の実施。	◎情報発信について ・これまで以上に、学校や学級での子どもたちの様子をわかりやすく、学校だよりや学級通信で保護者や地域の方に情報を発信していく。 ・コロナの影響で、参観日後の全体懇談を開くことができなかったので、保護者アンケート結果については別の方法で各家庭に報告する。	
	14			

令和２年度　蘭越町立蘭越中学校　　学校関係者評価　報告書　　令和３年３月２日

1　学校教育目標

・力のある　ねらいをもって　学び続ける生徒　　・ゆたかな心をもつ　明るくて　思いやりのある生徒
・強い意志をもつ　深く考えて　実行する生徒　　・心身ともに健康な　ねばり強くて　たくましい生徒

2　重点目標

◎　つながり合い　高め合い　深く学ぶ　思いやりのある生徒

3　学校経営の基本方針及び取組の重点

（１）　教育課程推進の基本方針
①　確かな学力の育成を目指す学習指導のの充実
②　豊かな人間性の育成を目指す道徳の授業改善とキャリア教育・英語教育の充実
③　健やかな体の育成を目指す健康安全指導と体育的な取組の充実
④　地域や小・高との連携・協力推進

（２）　開かれた学校を目指す経営の基本方針～学校の様子を積極的に発信し、保護者や地域の意見等を学校改善に生かす
①　事故や災害等の適切な対応
②　暴力・いじめの未然防止と適切な対応
③　基本的な学習・生活習慣づくりの推進
④　複数の目を通した指導の充実
⑤　常に基本を大切にする職員室づくりの推進

4　評価方法

（１）　自己評価
・校内学校評価委員会は、生徒や保護者、教職員へのアンケートを実施、集計し、その結果を分析する。

（２）　評価基準（アンケートの集計結果について）

A（良い）・・・・　集計平均　＞　3.2　　B（概ね良い）・・・・　3.2　≧　2.5　　C（不十分）・・・・　2.5　＞　集計平均

（３）　学校関係者評価
・自己評価の前期と後期を合わせた数値の平均を評価の基本とし、その妥当性を検討し、意見を集約する。

5　学校関係者評価（　実施期日　：　令和３年２月２２日１８時３０分～蘭越中学校校長室　）　※別紙資料参照

	指標（評価基準）	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価委員からの意見・要望
1 確かな学力の育成	（１）　個に応じた学習指導の充実が図られたか （２）　基礎的・基本的な学力が身についたか	①授業内容の理解 ②家庭学習の定着 ③読書の習慣化 ④考えをまとめて、わかりやすく伝える力 ⑤個に応じた指導（TT 指導、少人数指導、各種学習会、個別指導、支援員の活用）	前期 2.9 B 後期 2.9 B	通年 2.9 **評価Ｂ**	◇◆個に応じた指導方法に対する評価は高くなっているが、授業内容の理解に十分反映されているとはいえない ◇家庭学習の習慣が身についてきたことが　保護者にも伝わってきている。 ◆思考力・判断力・表現力が十分に身についている実感が表れていない。	・これまでの取組を継続し、個別指導の一層の充実を図り、一人一人に確かな学力を身につけさせてほしい。
	【取組の重点】～補充的学習を通した個別指導の充実と「深い学び」の研究による授業改善の推進					
2 豊かな人間性の育成	（１）　道徳が計画的に実践され、評価や授業改善が進められているか （２）　人との関わりや自分の将来について真剣に考えているか	①挨拶や言葉遣いが身についている ②善悪の判断や思いやりが身についている ③いじめの防止や早期発見に読書の習慣化 ④考えをまとめて、わかりやすく伝える力 ⑤個に応じた指導（TT 指導、少人数指導、各種学習会、個別指導、支援員の活用）	前期 3.0 B 後期 3.1 B	通年 3.1 **評価Ｂ**	◇学校は、いじめの対応に適切に取り組むことができている。また、思いやりの気持ちも大変高くなっている。 ◇挨拶や言葉遣い、善悪の判断や思いやりの気持ちが概ね身についている。 ◆英語に対する関心や意欲が十分には高まっていない。 ◇進路について意欲的に考える場面が増え、評価も上がっている。	・英語検定の結果などに英語の取組の成果が出ていることはすばらしい。 ・キャリア教育の充実を通して、社会で役立つ資質を身に付けさせてほしい。
	【取組の重点】～中高の連携による英語教育の充実と道徳の授業改善と評価の充実					
3 健やかな体の育成	（１）　関係機関と連携した健康安全指導が進められているか （２）　学校行事の充実、体力の向上、健康安全についての意識の向上が図られたか	①基本的な生活習慣の定着と健康安全指導の推進 ②スマホやゲーム利用の時間やルールの厳守 ③防災教育の充実 ④行事や部活動など、異学年の取り組みによるコミュニケーションや所属感の高まり ⑤体育的行事の充実と体力の向上、健康増進の取組の推進	前期 3.0 B 後期 3.3 A	通年 3.2 **評価Ａ**	◇学校は様々な活動を通して、人とのかかわりや集団意識を育成し、基本的生活習慣の定着を図っている。 ◇学校は体育的行事等の充実を図り、体力の向上、健康の増進に積極的に取り組んでいる。 ◆電子機器の適切な利用に対する意識や使用の仕方に課題がある。 ◆生徒の防災に対する意識や知識、実践力が身についていない。	・ＧＩＧＡスクール構想など、電子機器を活用した学習指導の一層の充実を図ってほしい。
	【取組の重点】～健康安全教育の充実や部活動指導員東都の連携による部活動の充実と体育的行事の改善					
4 開かれた学校	学校の様子を積極的に発信し、保護者や地域の意見等を学校改善に反映させているか	①学校は、学校評価などを通して、保護者の意見を参考に、積極的に学校改善を進める。 ②学校は学校だより等を通して学校運営の状況をわかりやすく保護者や地域に伝える。	前期 3.4 A 後期 3.4 A	通年 3.4 **評価Ａ**	◇学校は、学校評価や各種のたよりなどにより、学校改善や情報提供に適切に取り組んでいる。	・これからも学校の運営状況をわかりやすく発信するとともに、保護者の意見を参考に学校改善を進めてほしい。